

LINE 6



POD
EXPRESS



POD
EXPRESS
BASS

1.00 オーナーズマニュアル

内容

POD Expressの世界へようこそ	4	エフェクト・モデル	22
同梱品	4	シグナル・パスとステレオ機能について	22
最小システム要件	4	エフェクト・モデルの選択と調整	23
POD Expressのアップデート	4	POD Express Guitarエフェクト・モデル	24
トップパネルのコントロール	5	POD Express Bassエフェクト・モデル	25
リアパネル端子	7	クイックルーパーを使う	25
POD Expressの左パネル	8	米国における登録商標	26
クイックスタート	9	グローバル・セッティング	27
電池の装着	9	グローバル・セッティング表	28
粘着ゴム足の取り付け	9	全てのグローバル設定のリセット	31
シンプル・セットアップ	9	USB オーディオ	32
特徴	12	ハードウェア・モニタリング vs. ソフトウェア・モニタリング	32
全てを接続する	12	DIRECordingとリアンプ	33
エクスプレッション・ペダルとフットスイッチのセットアップ	13	Core Audioドライバーセッティング (macOSのみ)	34
プリセットを使う	15	ASIOドライバー・セッティング (Windowsのみ)	34
タップ・テンポを設定する	16	POD Express ファームウェアをアップデート	35
チューナーの使用	17		
電池残量を確認する	17		
アンプ & キャブ・モデル	18		
アンプ・モデルを選ぶ	18		
アンプ・パラメータの編集	19		
スピーカー・キャブ・モデル	20		


© 2024 Yamaha Guitar Group, Inc. 全著作権所有。

Yamaha Guitar Group, Line 6, Line 6ロゴ、Ampeg, SVT, Portaflex, POD, Helix及びHXは米国及び他の国々で登録されたYamaha Guitar Group, Inc.の商標です。Apple, Mac, macOS, iPad, iPhoneとiTunesは米国および他の国々で登録されたApple, Inc.の商標です。Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。iOSは米国及び他の国々で登録されたCiscoの登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。IntelはIntel Corporationの登録商標です。Windowsは米国及び他の国々で登録されたMicrosoft Corporationの商標です。YouTubeはGoogle, Inc.の商標です。Android, Play Store及びYouTubeはGoogle LLCの商標です。ASIOはSteinberg Media Technologies GmbHの登録商標です。

POD Expressの世界へようこそ

取扱説明書? 取扱説明書なんて読むのが面倒だ!

我々の目標の1つは、Line 6® POD® Expressデバイスをシンプルなデザインにして、ただ接続するだけでリフを始められるようにすることでした。しかし、より良い音色を作るためのクールなヒントやトリック、プロセス全体をスピードアップするためのショートカットを見逃してしまうかもしれません。デバイスと一緒に箱に入っているチートシートには、少なくとも一度は目を通すべきです。ご安心を。我々も含め、読むのが面倒な人のためにハウツービデオをいくつか用意しました。

 ヒント: POD Expressの最新ニュースや製品情報については、line6.com/meet-pod-expressをご覧ください。

違いは何ですか?

POD Expressペダルには、誉れ高いHX®ファミリーのプロセッサに由来するモデルが搭載されています。POD Express Guitarには、専用のギター・アンプ、キャブ、エフェクトが搭載されています。POD Express Bassは、ベーシストのためにデザインされており、独自のクラシック・ベース・アンプ、キャブ、エフェクトのセットが備わっています。機能的にはこの2つはほぼ同じですから自分の楽器に合う方を選べば良いでしょうし、両方共持ってちゃいけないなんてルールは勿論ありません!

同梱品

- POD® Express GuitarまたはPOD® Express Bassマルチエフェクト・デバイス
- AA 単三電池 3本
- 粘着ゴム足
- チートシート、安全&コンプライアンス、保証書

最小システム要件

USBオーディオ機能およびLine 6 Centralアップデート・アプリケーションでサポートされる最低限必要なオペレーティング・システムは以下のとおりです。

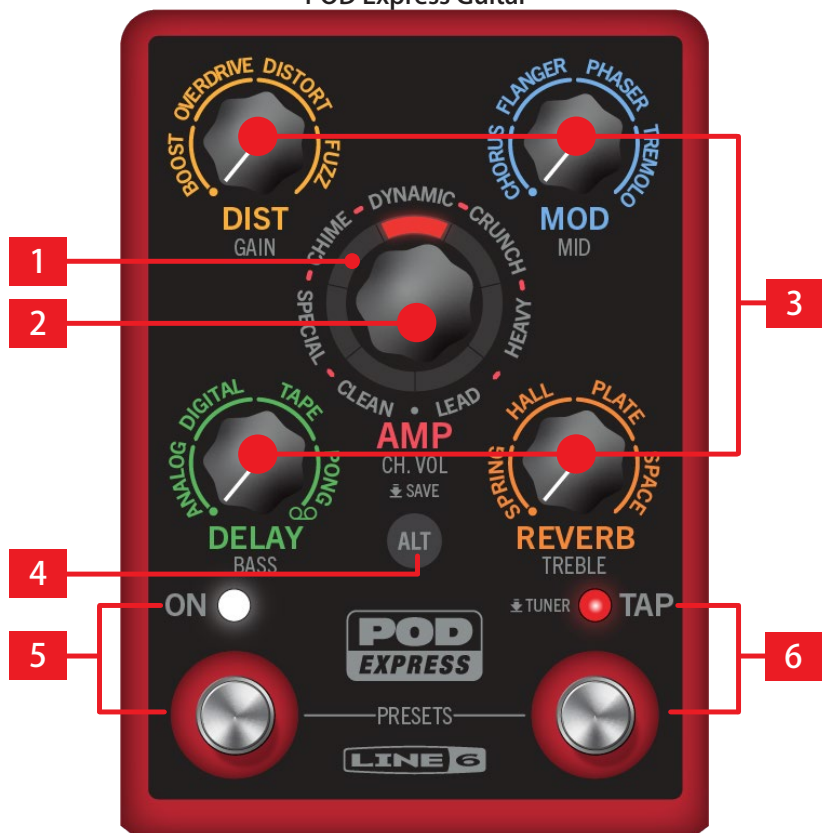
- macOS 11, Big Sur: Intel®およびAppleシリコン・プロセッサを搭載したAppleコンピュータはサポートされています
- Windows® 10
- Apple iOS 15およびiPadOS 15
- Android™ 6
- Line 6 Centralアプリケーションを使用して、macOSまたはWindowsコンピュータでファームウェアのアップデートを行う際はインターネットが必要です

POD Expressのアップデート

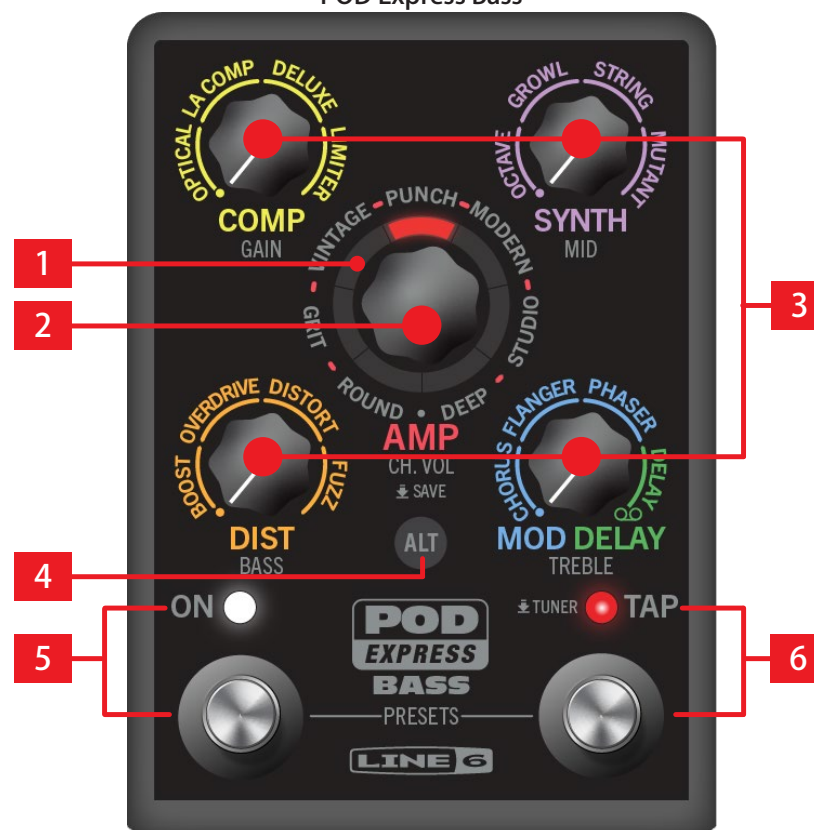
利用可能なファームウェア・アップデートをチェックし、インストールすることを強くお勧めします。これは、line6.com/softwareから入手できる無料のmacOSまたはWindows用 Line 6 Centralアプリケーションを使用すれば簡単に実行できます。[35ページ、「POD Express ファームウェアをアップデート」](#)を参照してください。

トップパネルのコントロール

POD Express Guitar

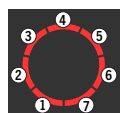


POD Express Bass



- LEDリング:** 7つのマルチカラーLEDセグメントが点灯し、本マニュアルに説明されている様々なパラメータ機能を示します。AMPエンコーダーを回すと、赤いLEDが選択されたアンプ・モデルを示します。

ALTボタンを押しながらAMPエンコーダーまたはエフェクト・ノブを回すと、LEDセグメントが対応する値を表示します。19ページ、「アンプ・パラメータの編集」を参照してください。



エフェクト・ノブを回すと、LEDセグメントが1~7の順番で時計回りに点灯し、現在のエフェクト・モデルの強さを示します。23ページ、「エフェクト・モデルの選択と調整」を参照してください。

Globalモードでは、LEDが設定と選択可能な値を示します。27ページ、「グローバル・セッティング」を参照してください。



- AMPエンコーダー:** 回してアンプ・モデルを選択するか、アンプ無しの場合は6時の位置にある●で記されたツメまで回します。LEDセグメント1~7が点灯して、現在選択されているモデルを示します(アンプ無し●に設定されている場合、LEDは点灯しません)。マッチするスピーカー・キャブ・モデルも読み込まれます。18ページ、「アンプ・モデルを選ぶ」を参照してください。

ALTボタンを押しながらAMPエンコーダーまたはエフェクト・ノブを回し、それぞれの下に銀色のラベルで表示されたアンプ・パラメータを調節します。

ALTボタンとTAPスイッチを押しながらAMPエンコーダーを回して異なるキャブ・モデルを選ぶか、キャブ無しの場合は●まで回します。22ページ、「エフェクト・モデル」を参照してください。

現在のプリセットを保存する際は、AMPエンコーダーを長押しします。15ページ、「プリセットを使う」を参照してください。

3. **エフェクト・ノブ**: 回して4つの各エフェクト・カテゴリーの中から気に入ったエフェクト・モデルを選択するか、反時計回りにいっぱいまで回してエフェクト・カテゴリーをバイパスします。[23ページ](#)、「[エフェクト・モデルの選択と調整](#)」を参照してください。

 **ヒント**: DELAYノブ (POD Express Guitar) または MOD DELAYノブ (POD Express Bass) を時計回りにいっぱいまで回してルーパー  を選択します。[25ページ](#)、「[クイックルーパーを使う](#)」を参照してください。

各エフェクト・ノブの下にある銀色のラベルは、ALTを押しながらノブを回すことで編集ができるアンプ・モデルのパラメータを意味しています。[19ページ](#)、「[アンプ・パラメータの編集](#)」を参照してください。

4. **ALTボタン**: 押すと、ノブまたはフットスイッチで別の機能にアクセスできます。

ALTボタンを押しながらTAPフットスイッチを押して離すと、Global設定に入ります。GlobalモードでALTを押すと、追加の設定にアクセスできます。[27ページ](#)、「[グローバル・セッティング](#)」を参照してください。

ALTを押しながらAMPエンコーダーとエフェクト・ノブを回して、対応するアンプ・パラメータを調節します。[19ページ](#)、「[アンプ・パラメータの編集](#)」を参照してください。


ALTボタンとTAPフットスイッチの両方を押しながら、AMPエンコーダーを回してキャブ・モデルを選択 ([22ページ](#)参照)、または対応するエフェクト・ノブを回してNoise Gateパラメータを編集 ([24ページ](#)参照) します。

ALTボタンとTAPスイッチの両方を押しながら、対応するエフェクト・ノブを回してアンプのMASTER VOLUMEまたはPRESENCEを調節します。詳細は[19ページ](#)を参照してください。

5. **ONフットスイッチ (FS1) とLED**: 押すと、デバイスを有効またはバイパスにします。有効にすると、LEDが白く点灯します。

6. **TAPフットスイッチ (FS2) とLED**: TAPフットスイッチを2回以上押して、モジュレーションとディレイ・エフェクトのテンポBPM (ビート/分)を設定します。LEDが赤く点滅して現在のテンポを示します。[16ページ](#)、「[タップ・テンポを設定する](#)」を参照してください。

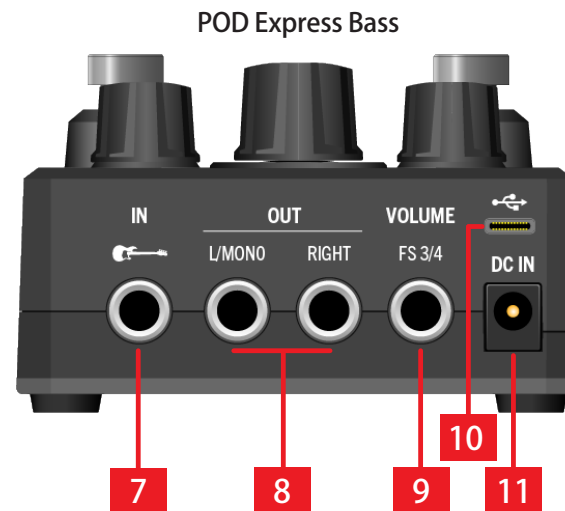
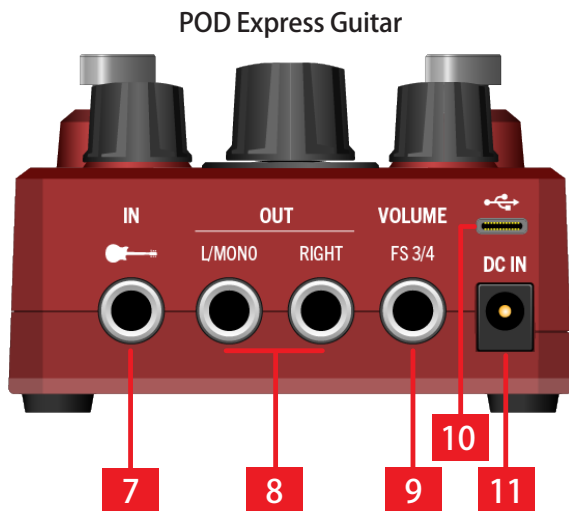
フットスイッチを長押しすると、チューナーが表示されます。[17ページ](#)、「[チューナーの使用](#)」を参照してください。

 **ヒント**: オプションとして、ONとTAPフットスイッチの機能を変更し、すべてのエフェクト・カテゴリー、または個別のエフェクト・ブロックのオン/オフを切り替えるように設定することができます。[13ページ](#)、「[エクスペリメンション・ペダルとフットスイッチのセットアップ](#)」を参照してください。

プリセット・モードの切り替え

ONとTAPフットスイッチの両方を長押しすると、プリセット・モードに入ります。その後、ONまたはTAPスイッチを個々に押して離すことで、デバイスの21のプリセット・ロケーションを上下にスクロールさせることができます。プリセットの編集や上書きも可能です。[15ページ](#)、「[プリセットを使う](#)」を参照してください。

リアパネル端子



- 7. IN:** 6.3mm TSアンバランス・ケーブルを使用して、ギター、ベース、モノラル・ペダルなどをこの入力に接続します。電池を使用している場合、ここにケーブルを接続することでデバイスの電源がオンになり、ケーブルを外すとオフになります。
- 8. OUT L/MONO, RIGHT:** 外部アンプやミキシング・コンソール、または他のペダルを接続するときは、6.3mm TSアンバランス・ケーブルを使用します。モノラルのアンプやペダルを接続する場合は、OUT - L/MONO端子のみに接続します。*

***注記:** OUT L/MONO端子のみを使用している際、ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続すると、OUT L/MONO信号はステレオ・エフェクト (MOD, DELAY, LOOPERとREVERBタイプのモデル) からの左チャンネルで処理された信号のみに変更されます。このため、これらのエフェクト・モデルのサウンドに多少の違いが生じる可能性があります。ヘッドフォン信号は何ら影響を受けることはありません。

- 9. VOLUME | FS 3/4:** エクスプレッション・ペダルを接続してボリュームをコントロール、またはフットスイッチ一台 (フットスイッチ2台) で他の機能をコントロールすることができます。[13ページ、「エクスプレッション・ペダルとフットスイッチのセットアップ」](#)を参照してください。

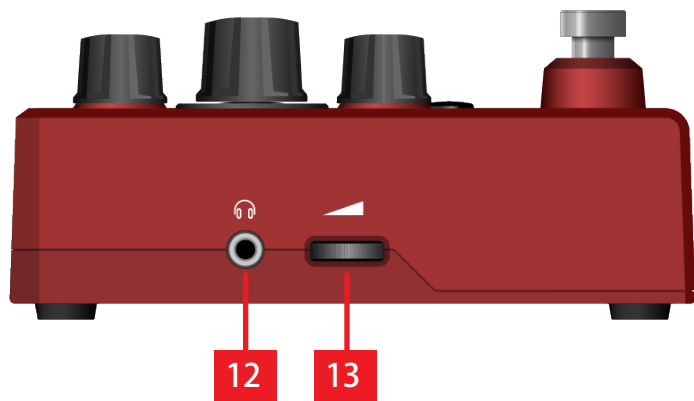
- 10. USB:** MacまたはWindowsコンピュータのUSB 2.0 (またはそれ以上) のポート、またはモバイル・デバイスに接続することでPOD Expressをオーディオ・インターフェースとして使用できます。† (USBハブには対応していないことに注意してください)
† 通常、Lightning搭載iOSデバイス用のApple カメラ・コネクタ・キットやUSB-OTGアダプターなど、モバイル・デバイスとの接続には、ケーブル・アダプターが必要です。アダプターはすべて別売りです。USBアクセサリの接続については、モバイル機器メーカーの推奨事項と説明書を参照してください。

注記: POD Expressは、必ず長さ2メートル以下のUSBケーブル (別売り) を接続して使用してください。POD Expressは、「データ専用」USBデバイスとして機能します。USB接続で電源を供給することはできません。

- 11. DC IN:** 電池を使用する代わりに、Line 6 DC-1g (別売り) などの電源アダプターを接続します。電源アダプターの条件は、出力ボルテージ9VDC、センターマイナス (センター一径2.1mm)、最小電流500mA、最小出力4.5W。

POD Expressの左パネル

POD Express Guitar

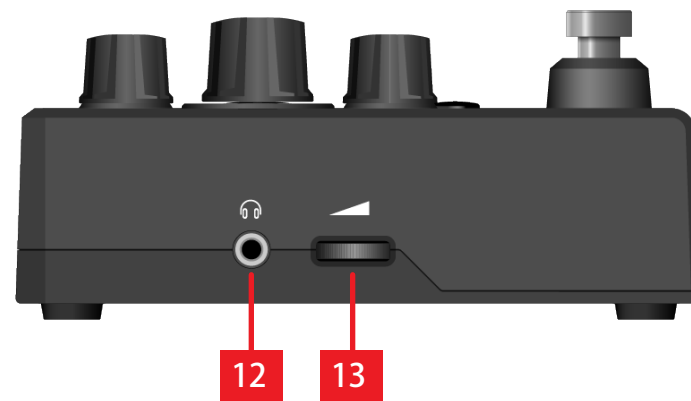


12. ヘッドフォン端子:ステレオのヘッドフォンをここに接続し、VOLUMEサムホイールを回して音量を調節します。

重要!ヘッドフォンを接続する前に、必ずVOLUMEサムホイールを最小に回してください。聴覚を保護してください!

注記:ヘッドフォンを使用しないときは、バッテリーの消耗を防ぐために接続を外します。

POD Express Bass

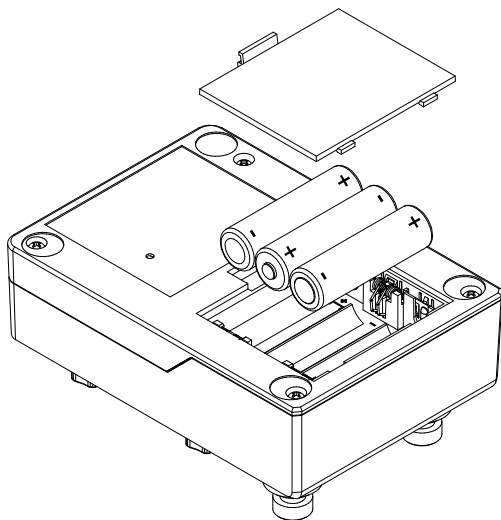


13. VOLUME:サムホイールを回して、OUTとヘッドフォン全体の出力レベルを設定します。

クイックスタート

電池の装着

POD Expressは、AA単三電池3本(同梱)で電源を供給できます。電池は以下のとおりに装着します。



電池の装着

- ・ POD Expressに接続したケーブルはすべて取り外します。
- ・ デバイスの底の面にある電池コンパートメント・パネルを取り外します。
- ・ 各電池のプラス(+)とマイナス(-)のマークと各電池スロットのマークが合うように注意しながらAA単三電池を3本入れます。
- ・ コンパートメント・パネルをしっかりと元の位置に取り付けます。

注記:電池を使用している場合、ケーブルをIN端子に接続すると自動的にデバイスの電源が入ります。デバイスの電源をオフにするときは、IN端子からケーブルを外します。ヘッドフォンも同様に、デバイスを使用していないときは、電池の消費を防ぐために接続を外すようにしてください。デバイス¹を長時間使用しない場合は、電池を取り外すようにしてください。[17ページ「電池残量を確認する」](#)参照。

ヒント:オプションとして、Line 6 DC-1g電源アダプターを[Line 6オンラインショップ](#)で購入してPOD Expressデバイスの電源供給に使用できます。

粘着ゴム足の取り付け

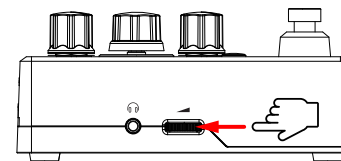
確実に固定するため、以下の手順に従って、付属の粘着ゴム足をPOD Expressの底面に貼り付けてください。

- ・ イソプロピルアルコールなどの穏やかな溶剤で、足を貼り付けるシャーシの表面を清掃します。
- ・ 室温または室温に近い環境(約21°C)でシャーシに貼り付けます。
- ・ ラバー足を台紙から剥がし、シャーシに数秒間しっかりと押し当てて貼り付けます。接着剤が完全に接着するまで、72時間はゴム足を動かさないでください。

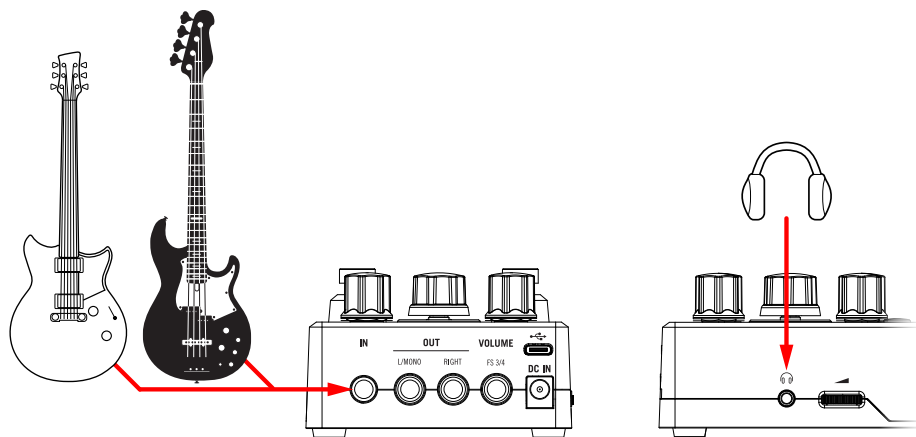
シンプル・セットアップ

新しいPOD Expressを早速使いたい!という人には、最速のセットアップ方法を以下にご紹介します。

1. VOLUMEサムホイールを最小までいっぱいに回します。



2. IN端子に標準的は楽器用ケーブルでギターまたはベースギターを接続します。ヘッドフォンをヘッドフォン端子に接続します。

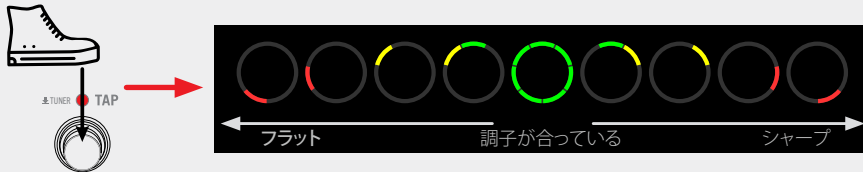


3. ギターをかき鳴らしたり、ベースで音を弾いたりしながら、VOLUMEサムホイールをゆっくりと上げていけば、PODのサウンドに浸ることができます。

これで準備は完了です!次はさらなる機能も試してみてください。

チューンアップ:

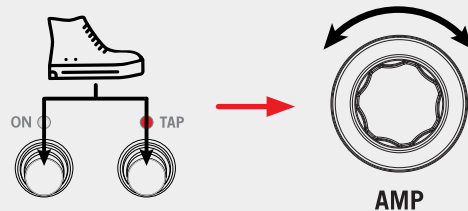
TAPスイッチを長押しし、チューナーを起動させます。



弦を鳴らして、AMPエンコーダーの回りのLEDが全て緑色で点灯するまで弦を調節します。チューニングが完了したら、いずれかのスイッチを押してチューナーを終了します。

サウンドを試してみる:

ONとTAPの両方のフットスイッチを同時に押し、同時に離すと、プリセット・モードに入ります。AMPエンコーダーを回して、ファクトリー・サウンドの1つを読み込みます。



しばらく使ってみたい、または編集したいと思ったプリセットが決まったら、両方のフットスイッチを同時に押し、同時に離すと、プリセット・モードを終了します。

別のアンプを試してみる:

プリセット・モードに入っていない状態であれば、AMPエンコーダーを回すだけで、7つのアンプのうちの1つを読み込みます。



エフェクトを試してみる:

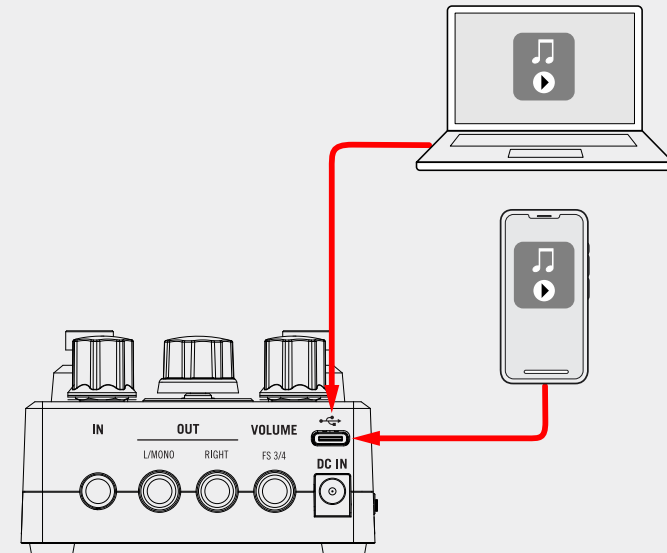
プリセット・モード以外で、どのエフェクト・ノブを回しても、4つのモデルのうち1つが有効になります。



ノブをゆっくりと回して、現在選択されているエフェクトの設定を調整します。最小まで回すと、そのエフェクトはバイパスされます。

曲をジャムする:

POD Expressを、コンピュータまたはモバイル・デバイスのUSB端子に接続します。



POD Expressを、メインのオーディオ再生機器として使用するように、コンピュータ/モバイル・デバイスを設定します。

お気に入りの楽曲を音楽プレーヤー・アプリケーションで再生すれば、POD Expressを通して聴くことができるため、心ゆくまでジャムすることができます。

**これでもうあなたはPOD Expressのエキスパートです！
では、ここまでにしておいて、早速接続して練習してください。**

え、何、もっと知りたい？ 良いでしょう。POD Expressには、一目見るだけではわからない、隠された機能がかなり存在しています。例えば、キャブを交換したり、隠れたノイズ・ゲートをコントロールしたり、エクスプレッション・ペダルや外部フットスイッチを接続したり、フットスイッチ機能をカスタマイズしたり、POD ExpressをUSBオーディオ・レコーディング・インターフェースとして使ったり、他にも色々なことができるなんて知っていましたか？

このマニュアルの残りの部分は、かなり深く掘り下げた内容となるため、自己責任で進めてください！

特徴

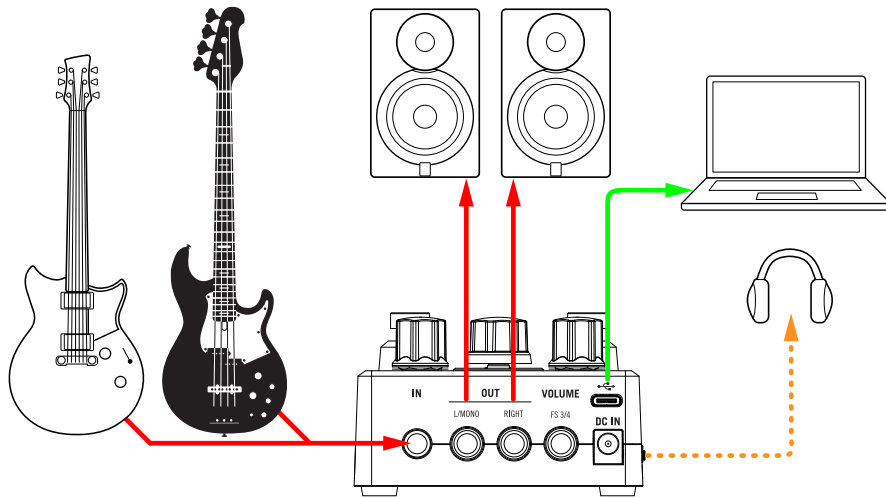
全てを接続する

POD Expressを他のギアと接続させる方法は数多くあります。以下のページにその一部を記載します。接続する前に、必ずPOD Expressデバイスおよび外部アンプまたはPAシステムのボリュームは最小に下げてください。

スタジオで

POD Expressデバイスには、制作スタジオ向けのマルチチャンネルUSBオーディオ・インターフェイスも搭載されています。リアンプしたり、またはUSBオーディオ・ストリームを使用して録音後のDAW (Digital Audio Workstation)の中でトラックやバスを処理することができます。詳細は「[USB オーディオ](#)」を参照してください。

注記: POD Expressデバイスは、USBを介した電源供給ができないため、電子または電源アダプターが必要です。

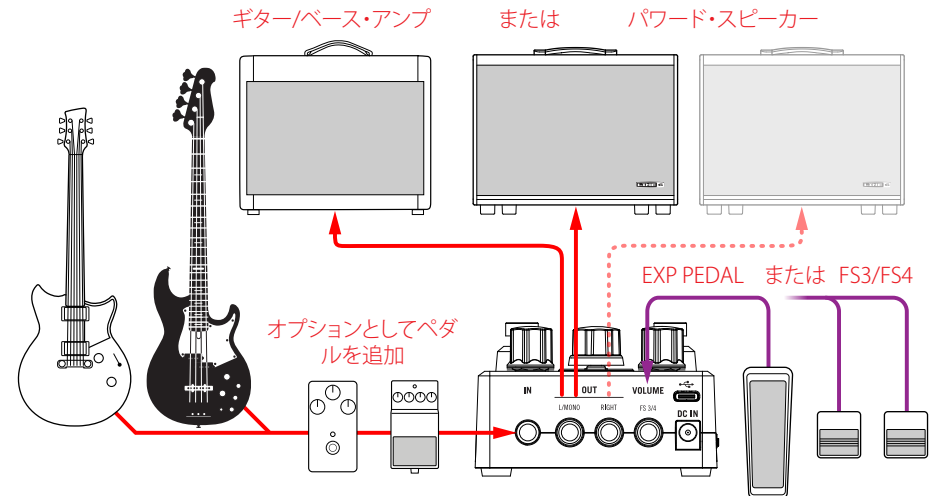


アンプまたはパワード・スピーカーと使用する

トーンがどれだけ複雑かにもよりますが、POD Expressをマルチエフェクトやルーピング、チューナー・ペダルとして使用して、ギターやベースアンプのフロントに接続したり、アンプとキャブ・モデリングをパワード・スピーカー・ユニット (またはステレオの場合は2台) に接続して、全体のプロセッシング・リグとして使用することができます。

注記: アンプ (またはスピーカー・キャブ・シミュレーションが可能なパワード・スピーカー) に接続する場合、POD ExpressのCABブロックをオフに設定するには、ALTボタンとTAPフットスイッチを押しながら、AMPエンコーダーを●まで回します。[22ページ「エフェクト・モデル」](#)を参照してください。

オプションとして、他のストンプボックス・ペダルをPOD Expressの前に接続することができます。コントロールを更に増やしたい場合は、VOLUME | FS 3/4 端子にエクスペッション・ペダル/外部フットスイッチを追加、あるいはYケーブルを使えば2台のフットスイッチを追加することができます。[13ページ「エクスペッション・ペダルとフットスイッチのセットアップ」](#)を参照してください。



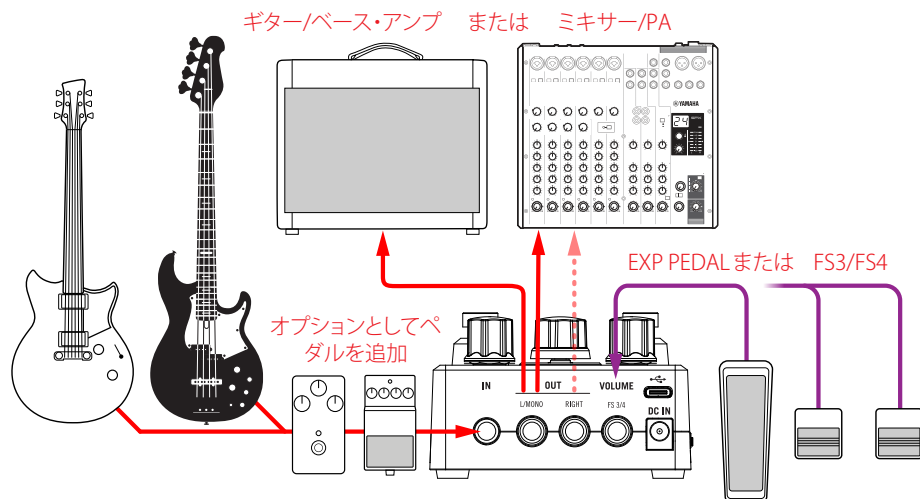
ヒント: Line 6 Powercabシリーズは、現代のモデラーとの併用に特化させて設計されており、POD Expressとの相性は抜群です! 詳細はline6.com/powercabを参照してください。

アンプまたはPAシステムと使用する

POD Expressは、マルチエフェクトやルーピング、チューナー・ペダルとして、アンプのフロントで使用したり、ベース・アンプとキャブ・モデリングをミキサー/PAシステムにダイレクトに供給する全体のプロセッシング・リグとして使用できる柔軟性を備えています

注記:ギターまたはベース・アンプに接続する場合(またはスピーカー・キャブ・シミュレーションが可能なパワード・スピーカーに接続する場合は、POD ExpressのAMPやCABブロックをオフに設定します。
AMPブロックを無効にするには、AMPエンコーダーを●に回します。
CABブロックを無効にするには、ALT ボタンとTAPスイッチを押しながらAMPエンコーダーを●に回します。
[22ページ、「エフェクト・モデル」](#)を参照してください。

オプションとして、POD Expressの後に他のストップボックス・ペダルを接続することも可能です。さらにコントロールしたい場合は、エクスプレッション・ペダルや外部フットスイッチ、またはYケーブルで、2つのモメンタリータイプのフットスイッチをVOLUME | FS 3/4端子に追加します。「エクスプレッション・ペダルとフットスイッチのセットアップ」を参照してください。



エクスプレッション・ペダルとフットスイッチのセットアップ

エクスプレッション・ペダルを接続すれば、便利なボリュームペダルとしてPOD Expressを使用できます。Volumeは、AMP & CABモデルのすぐ後、タイムベース・エフェクトの前にあります。[22ページ、「シグナル・パスとステレオ機能について」](#)を参照してください。

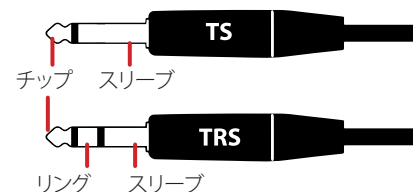
オプションとして、フットスイッチを1台(または2台)接続すれば、デバイスの「FS3」と「FS4」の機能を切り替えることができます。以下の例にあるように、特定のペダル/フットスイッチの設定に合わせて、デバイスのGlobalセッティングのオプションを調整する必要がありますことに注意してください。

注記:エクスプレッション・ペダルとフットスイッチは別売りです：
Line 6 EXP-1ペダルは良い選択です。[\(Line 6オンライン・ショップから入手可能\)](#) また、ほとんどのサードパーティ製エクスプレッション・ペダルも使用できます。
シングルまたはデュアル外部フットスイッチの場合は、「モメンタリ」(ラッチなし)タイプをお求めください。

TS対TRSケーブル・タイプ

まず最初に... このセクションでは、エクスプレッション・ペダルやフットスイッチの6.3mmケーブル接続について、2つのタイプの違いを説明します：

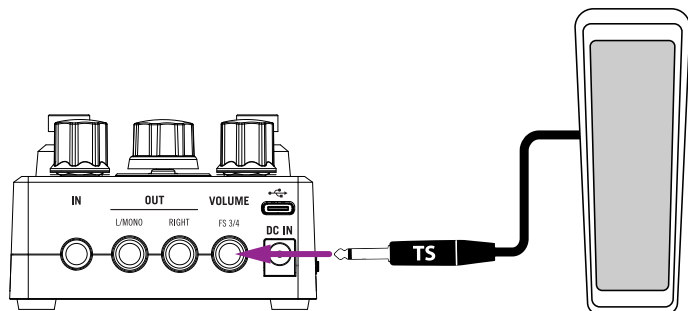
- Tip-Sleeve (TS) タイプのケーブルは、Tip (プラス) と Sleeve (アース) の 2本の導体で構成されています。
- Tip-Ring-Sleeve (TRS) タイプのケーブルは 3本の導体で構成されています。Tip (プラス)、Ring (プラス)、Sleeve (アース) です。



POD Express背面にあるVOLUME | FS3/4端子は、TRSタイプの端子であり、TSケーブルを使用して1台のエクスプレッション・ペダルまたは1台のフットスイッチを接続するか、TRSケーブルを使用してデュアル・フットスイッチを接続できます。また、TSケーブルで接続したエクスプレッション・ペダルと、TSで接続したフットスイッチを同時に接続することも可能です(デュアルTSからTRSプリッター(または「Y」アダプター)に接続する場合)。以下の接続例をご参照ください。

エクスプレッション・ペダルの接続

エクスプレッション・ペダル1台を接続している場合は、TS楽器用ケーブルを使用して直接VOLUME | FS3/4端子に接続します。接続したペダルがデバイスのVOLUMEブロックを、0%から 100%までコントロールします。



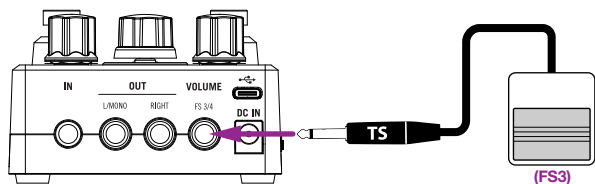
エクスプレッション・ペダルの接続 (TSケーブル接続)

[\[Volume Jack\]](#) パラメータをデフォルトの「ボリューム (エクスプレッション・ペダル)」設定のまま保持する場合

注記: ペダルが1台も接続されていない場合、VOLUMEブロックはデフォルトの100%です。

シングル・フットスイッチの接続

シングル・フットスイッチ を接続している場合は、TS楽器用ケーブルを使用して、直接VOLUME | FS3/4端子に接続します。接続したフットスイッチで「FS3」をコントロールします。

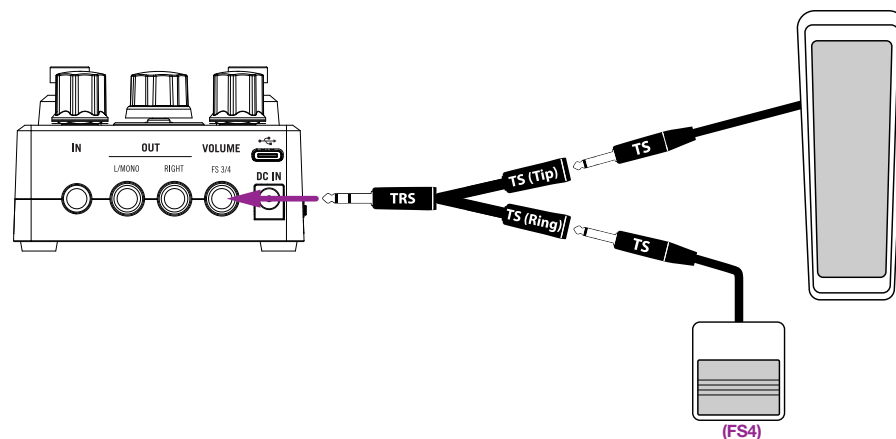


エクスプレッション・ペダルの接続 (TSケーブル接続)

[\[Volume Jack\]](#) パラメータを「FS 3/4」オプションに設定し、「FS3 Assign」パラメータを、接続したフットスイッチに実行させたい機能として設定する必要があります (デフォルトでは、FS3フットスイッチは「前のプリセット」機能に設定されています)。

エクスプレッション・ペダルとフットスイッチの接続

TRS - TSスプリッターを使用して、VOLUME | FS3/4端子に接続します。エクスプレッション・ペダルをスプリッターの「Tip」に、フットスイッチを「Ring」に接続してください。



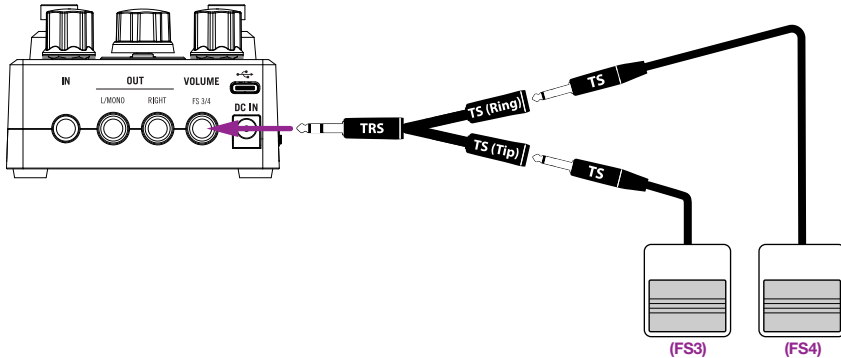
エクスプレッション・ペダルとフットスイッチの接続 (2x TS-TRSスプリッター)

[\[Volume Jack\]](#) パラメータをデフォルトの「Volume/FS4」オプションのままにしておき、「FS4 Assign」パラメータを「Ringに接続した」フットスイッチに実行させたい機能に設定します (デフォルトでは、FS4フットスイッチは「次のプリセット」機能に設定されています)。ペダル (Tip) がボリュームをコントロールします。

2つのフットスイッチを接続する

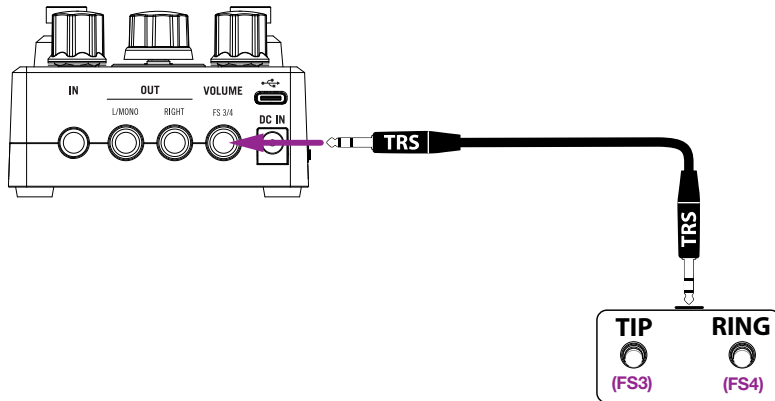
2つのフットスイッチを接続する

このタイプのセットアップは、2つの個別のフットスイッチ（通常は、それぞれTSケーブルを使用）、またはデュアルフットスイッチ・ユニット（通常は、TRSケーブルを使用）のいずれかを使用して実現できます。



2つのフットスイッチを接続する (デュアルTS-TRSスプリッター)

デュアルフットスイッチを接続する



デュアルフットスイッチを接続する (TRS-TRSケーブル)

2つのフットスイッチまたはデュアルフットスイッチを接続する場合、[「Volume Jack」](#)パラメータを「FS3/4」オプションに設定する必要があります。デフォルトでは、FS3は「前のプリセット」、FS4は「次のプリセット」に設定されています。これらの機能を変更するには、[「FS3 Assign」](#)と[「FS4 Assign」](#)パラメータを使用します。

フットスイッチ機能を設定する

“[グローバル・セッティング](#)”に入り、ON (FS1), TAP (FS2), FS3またはFS4に「Assign」パラメータを選択して、それぞれのフットスイッチに希望する機能を個別に選択します。

- フットスイッチにアサインされたパラメータのオン/オフを切り替えるように設定します。
- FS3またはFS4に接続されたフットスイッチは、TAP Tempoをコントロールしたり、次、または前のプリセットに切り替えるスイッチとして機能するようにアサインできます。

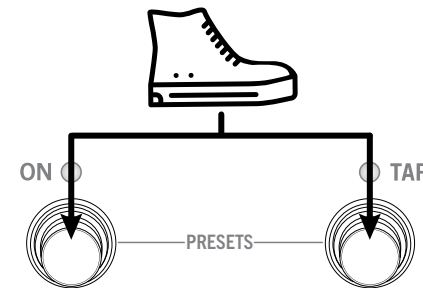
プリセットを使う

アンプ、キャブやエフェクトを選択して微調整するのも良いですが、すべてのモデルセッティングをプリセットと共に保存しておけば、お気に入りのサウンドをより簡単に呼び出すことができます!POD Expressには直ぐにでも使えるように21のプリセット・メモリーが用意されており、それと共に1~7にはファクトリー・プリセットがロードされています。すべてのプリセットの場所は編集が可能で、独自の設定と共に上書きできます。

プリセットの選択とロード

プリセットを選択してロードするには:

- ONスイッチとTAPスイッチの両方を1秒間長押ししてプリセット選択モードに入ります。



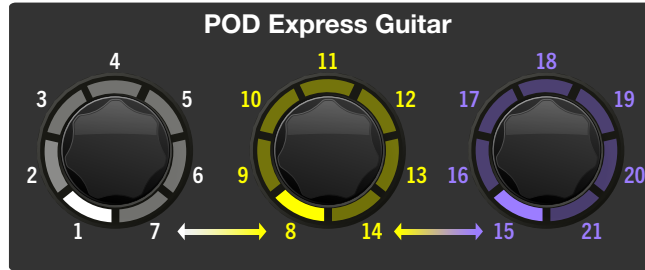
フットスイッチLEDが暗くなり、LEDリング・セグメントが点灯して現在のプリセットを示します。プリセットの選択は、AMPエンコーダーの回りのLEDセグメントの位置と色で示されます。プリセットを選択すると、次のステップで説明するように、それぞれのLEDセグメントが点灯します。

- AMPエンコーダーを時計回りに回すか、TAPを押して次のプリセットを選択します (またはキューに入れます)。次のLEDリング・セグメントが点灯します。

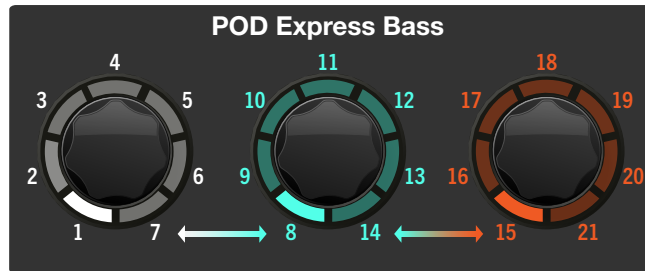
- AMPエンコーダーを反時計回りに回すか、ONを押して前のプリセットを選択します。前のLEDリング・セグメントが点灯します。

21がロードされている間に次のプリセットを選択すると、一巡してプリセット1をロードします(またはキューに入れます)。同様に、プリセット1がロードされている間に前のプリセットを選択すると、一巡してプリセット21になります。選択したプリセットは、それぞれのLEDリング・セグメントと色で示されます。

POD Express Guitar: プリセット番号は、以下のように、LEDセグメントに対応しています。LEDは、プリセット1~7で白色、8~14で黄色、15~21で紫色に点灯します。



POD Express Bass: プリセット番号は、以下のように、LEDセグメントに対応しています。LEDは、プリセット1~7で白色、8~14で水色、15~21で濃い橙色に点灯します。



プリセットのロードには、選択可能な2つの動作があります。インスタントまたはロード。これらは、[「Preset Select」](#)オプションから選択できます。

- インスタント、これはデフォルト設定であり、次のプリセット、または前のプリセットが選択されると即座にロードします。プリセットモードを終了するとき、両方のフットスイッチを同時に押します。
- ロード、これは選択されたプリセットのみをキューにいれます。選択されたプリセットのLEDが点滅します。ONとTAPの両方を押すと、プリセットがロードされ、プリセット選択モードも終了します。これにより、すべてのプリセットを音で聴いてロードせずに、複数のプリセットをスクロールして目的のプリセットを選択できます。



ヒント: 外部フットスイッチ (FS3とFS4) を接続して設定することで、次のプリセットや前のプリセットを瞬時にロードすることができます。さらに、ONとTAPフットスイッチに他のタスクをアサインすることも可能です。[15ページ、「フットスイッチ機能を設定する」](#)を参照してください。

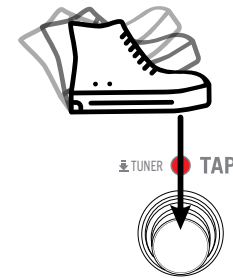
サウンドを保存する

それぞれPOD Expressデバイスの21プリセット・ロケーションには、ファクトリー・プリセットが用意されています。現在ロードされているプリセットのアンプ、キャブ、エフェクトのセッティングを自分好みに調整した後、自分のプリセットとして保存したくなったときは、現在のプリセットに上書きするか、またはプリセットの違う場所の1つを選んで保存します。

- AMPエンコーダーを長押しします。両方のフットスイッチLEDが暗くなり、現在のプリセットのLEDが点滅します。
- 別の場所にサウンドを保存したいときは、AMPを回してAMPエンコーダーのLEDの位置と色で示されるように、別のプリセットの場所を選択します(前のセクションを参照)。保存しないで終了するとき、両方のONとTAPフットスイッチを同時に押し手キャンセルします。
- 保存するときはAMPエンコーダーを押します。選択したメモリーのLEDが2回点滅します。

タップ・テンポを設定する

TAPフットスイッチでビート(4分音符)を踏むと、20~240BPMまでのタップ・テンポで設定され、モジュレーションとディレイのエフェクトが同期します。



TAPフットスイッチのLEDが点滅してタップ・テンポ・レートを示します。Note that you can set the [「TAP Tempo」](#) オプションを設定して、BPMを個別に、例えばプリセットごとに保存するか、またはグローバルに保存するかを選択できます。

チューナーの使用

使いやすいクロマティック・チューナーがPOD Expressの両方に搭載されています。チューナーは個々の弦のチューニングを検出し、最も近い半音単位で、フラット、イン・チューン、シャープと表示されます。

1. TAPフットスイッチを1秒間は長押ししてTunerモードに入ります。
Tunerモードに入ると、OUTとヘッドフォン端子はミュートされます。
2. 楽器の弦を個々に鳴らしてLEDリング・セグメントの表示がフラット/シャープであるかを確認します。

すべてのLEDが緑色で点灯すれば、弦のチューニングは正しく合っています。個々のLEDリング・セグメントが黄色から赤色に点灯し、中心から左、または右に離れるほど、その弦は、下図で示すように、目標ピッチからよりフラットまたはシャープであることを示します。

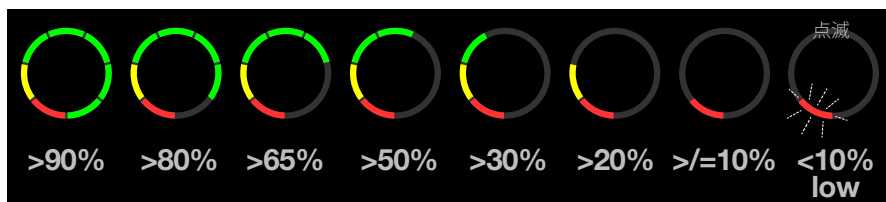


LEDリング・セグメントが点灯して、弦のチューニング状態を示します。

3. チューナーを終了するときは、フットスイッチを押します。

電池残量を確認する

POD Expressデバイスに電池を装着した状態（電源アダプターが接続されていない状態で）、6.3mmケーブルをIN端子に接続し、デバイスの電源が完全にオンになるまで待ちます。ALTボタンを3秒間長押ししてバッテリー・チェック・モードに入ります。ALTを押している間、LEDは以下のいずれかの状態に点灯し、電池の残りの駆動時間を示します。



電池残量を示すLEDインディケータの状態

LEDリングは、ALTボタンを離すまで、上記の表示と共に点灯し続けますが、電池残量が少ない場合は例外として、デバイスの電源が切れるまでLED1が点滅し続けます。

ローバッテリーの自動警告

POD Expressは、電池残量が少なくなった状態を自動的に検出し、前の図で示すように、LED 1が赤色で点滅して知らせます。この赤色の点滅インジケータは、デバイスの電源がオフになるまで、他の編集用LEDインジケータの間に表示され続けます。電池の残量が少なくなったら、電池を交換してください。

アンプ & キャブ・モデル

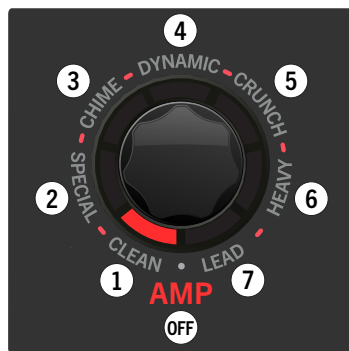
POD Expressには、数々の賞を受賞したLine 6のHXプロセッサに由来する7種類ののアンプ・モデルと7種類のキャブ・モデルが搭載されています。アンプ&キャブ・モデルには、AMPエンコーダーからアクセスすることができ、LEDリングでモデルの種類とパラメータ編集値を表示します。AMPエンコーダーを回して好きなアンプを選ばだけで、それにマッチするスピーカー・キャブが自動的にロードされます。この章で説明されているように、好みに合わせてアンプ・パラメータも微調整できます。

注記: すべてのアンプ & キャブ・モデルはモノラルですが、デバイスの MOD, DELAY, REVERBエフェクトを活用して壮大なステレオのサウンド・スケープを作り上げることも可能です![22ページ](#)、「[シグナル・パスとステレオ機能について](#)」を参照ください。

アンプ・モデルを選ぶ

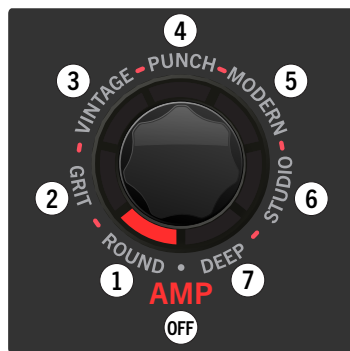
7種類のアンプ・モデルが赤色のラベルで表示されていて、AMPエンコーダーで選択します。エンコーダーを回すと、対応するLEDリング・セグメント(1~7)が赤色で点灯し、選択したモデルを示します。アンプをバイパスするときは、そのノブを●(オフ)の位置に設定します。例えば、CLEANアンプ・モデルを選択すると、ポジション1のセグメントが赤色で点灯します。

POD Express Guitar



CLEANギター・アンプが選択されている

POD Express Bass



ROUNDベース・アンプが選択されている

アンプ・モデルと、そのベースとなったクラシック・アンプは以下の表に記載されています。

POD Express Guitar – アンプ・モデル

ポジション	タイプ	ベースにしています*
①	CLEAN	Fender® Princeton Reverb®
②	SPECIAL	Line 6 Litigator
③	CHIME	Matchless® DC30 (チャンネル1、クリーン)
④	DYNAMIC	Ben Adrian Cartographer
⑤	CRUNCH	Friedman BE-100 (BE/HBEチャンネル)
⑥	HEAVY	Line 6 Oblivion
⑦	LEAD	Peavey® 5150®
Off	オフ	不可

POD Express Bass – アンプ・モデル

ポジション	タイプ	ベースにしています*
①	ROUND	Ampeg® B-15NF Portaflex®
②	GRIT	Ampeg Grit® (ノーマル・チャンネル)
③	VINTAGE	Fender® Bassman® Silver Panel
④	PUNCH	Gallien-Krueger® GK 800RB
⑤	MODERN	Darkglass® Electronics Microtubes® B7K Ultra
⑥	STUDIO	Aguilar® Tone Hammer
⑦	DEEP	MESA/Boogie® M9 Carbine
Off	オフ	不可

*26ページ「[米国における登録商標](#)」を参照してください。本ドキュメントに記載されているすべての製品名は、各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar GroupまたはLine 6との関連や提携関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

アンプ・パラメータの編集

4つのエフェクト・ノブとAMPエンコーダーには、それぞれ銀色のラベルが付いています。それぞれの銀色のラベルは、対応するノブまたはエンコーダーで代替機能として調整可能なアンプ・パラメータを示します。



銀色のラベルはアンプ・パラメータを示します

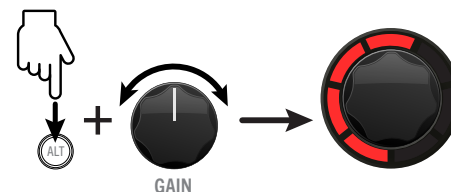
アンプ・パラメータ

パラメータ	詳細
GAIN	ディストーションの量を調節します。
MID	ドライブの量を調節します。
BASS	ローエンドの量を調節します。
TREBLE	ハイエンドの量を調節します。
CH VOL	アンプの出力ボリュームを調節します。

上記のアンプ・パラメータにアクセスするには、ALTを押しながら、それぞれ対応するエフェクト・ノブまたはAMPエンコーダーを回します。

ノブを調節すると、LEDリング・セグメントが時計回りに赤色で点灯していくのがわかります。最小値ではLEDセグメントは点灯せず、7つのセグメント全てが明るく点灯するときは、パラメータの最大値を示します。

例えば、ALTを押しながらGAIN (DIST)ノブを約50%に調節すると、下の図のように、LEDリング・セグメントの約半分が最小値から時計回りに点灯します。



アンプパラメータの編集 (GAINが表示)

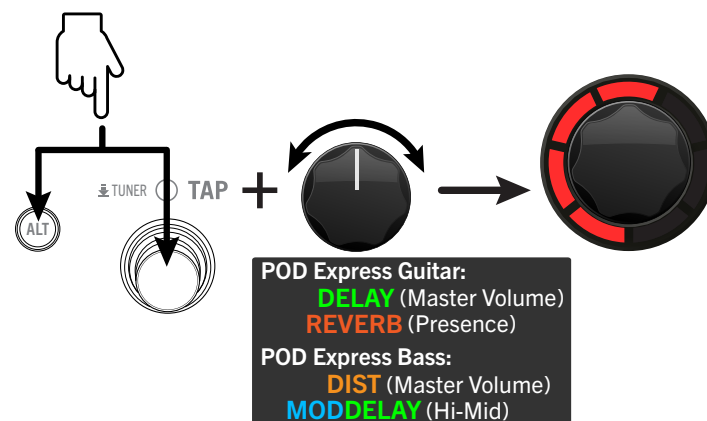
アンプMaster VolumeとPresence/Hi-Midパラメータ

さらに、パワー・アンプ・セクションのMaster Volume、Presence (POD Express Guitar)、Hi-Mid (POD Express Bass) も編集可能です。

1. アンプのMaster Volumeにアクセスするには、ALTボタンとTAPスイッチの両方を押しながら、DELAYノブ (POD Express)またはDISTノブ (POD Express Bass)を回します。
2. アンプのPresenceまたはHi-Midパラメータにアクセスするには、ALTボタンとTAPスイッチの両方を押しながら、REVERBノブ (POD Express Guitar)またはMODDELAYノブ (POD Express Bass)を回します。

ノブを調節すると、LEDリングで最小値を示すときはLEDセグメントの点灯は無く、Master VolumeまたはPresence/Hi-Midパラメータの最大値では7つすべてのセグメントが明るく点灯するのがわかります。*

*注記: POD Express Bass: Grit, VintageとStudioベース・アンプは、Hi-MidではなくMidrange FrequencyとBrightノブパラメータを使用できます。次の手順をご覧ください。



アンプのMaster VolumeとPresence/Hi-Midパラメータを編集する

3. POD Express BassデバイスのGrit, Vintageと Studioベースアンプでは、別のパラメータがマッピングされており、ALT + TAPを押しながら MOD DELAYノブを回してアクセスします。

- **Gritベース・アンプ:**アンプのMID (ALT + SYNTHノブ)パラメータがブースト、またはカットするミッドレンジ周波数を設定します。MOD DELAYノブを回すと、AMPリングの赤色LEDで3つの設定が表示されます。最小値ではすべてのLEDが消灯(220Hz)、最初のLED4つが点灯(800Hz)、最大値ではすべてのLEDが点灯(3000Hz)。
- **Vintageベース・アンプ:**Brightスイッチを調節します。2つの設定が使用可能です。最小値ですべてのLED消灯(Bright オフ)と、すべてのLED点灯(Brightオン)。
- **Studioベース・アンプ:**アンプのMid (ALT + Synth ノブ)パラメータがブーストまたはカットするミッドレンジ周波数を設定します。MOD DELAYノブを回すと、AMPリングLEDで選択した周波数を示します。すべてのLEDオフ(150Hz)から7つすべてのLED明るい赤色で点灯(1000Hz)まで。

スピーカー・キャブ・モデル

既に記載したとおり、AMPモデルが選択されると、それにマッチしたデフォルトのスピーカー・キャビネット・モデルが自動的にロードされます。各アンプ・モデルとそれに対応するキャブ・モデルのLEDの位置については、以下のキャブ・モデルの表を参照してください。とはいえ、現在選択しているアンプに別のキャブを選択することも可能です。

キャブ・モデルを選択する

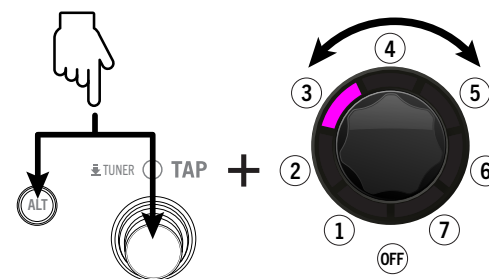
オプションとして、いずれのアンプ・モデルでも、付随する7種類のキャブのどれかにキャブ・モデルを変更することもできますし、またはノブを回して「オフ」(no 桃色のLED点灯無し)にしキャブ無しも可能です。* キャブを変更することで、現在のアンプ・モデルで使用可能なトーンのバリエーションが広がります!

***ヒント:**デバイスの出力を外部アンプ、またはキャブ・シミュレーター/インパルス・レスポンス・ローダーへ送りたい場合は、「オフ」を選択してください。

ALTボタンとTAPフットスイッチを長押ししながらAMPエンコーダーを回してキャブを選択します。

表に記載されているとおり、LEDリング・セグメントの1つが明るいピンク色で表示され、選択したキャブ・モデルを示します。

下の例では、ポジション3のピンクLEDセグメントが点灯し、「2x12 Matchless」(POD Express Guitar) または「2x15 Fender」(POD Express Bass) キャブ・モデルが選択されていることを示しています。



キャブ・モデルを選択する

POD Express Guitar キャブ・モデル

ポジション	アンプにマッチ	ベースにしています*
①	CLEAN	1x10" Fender Princeton Reverb
②	SPECIAL	1x12" Fender Deluxe® Oxford
③	CHIME	2x12" Matchless DC-30, G12H30
④	DYNAMIC	4x12" Bogner® Überkab, V30
⑤	CRUNCH	4x12" Marshall® Basketweave, G12-M25
⑥	HEAVY	4x12" ENGL® XXL, V30
⑦	LEAD	4x12" MESA/Boogie 4FB, V30
Off	オフ	不可

*26ページ「米国における登録商標」を参照してください。本ドキュメントに記載されているすべての製品名は、各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar GroupまたはLine 6との関連や提携関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

POD Express Bass キャブ・モデル

ポジション	ベース・アンプにマッチ	ベースにしています*
①	ROUND	1x15" Ampeg B-15
②	GRIT	8x10" Ampeg SVT
③	VINTAGE	2x15" Fender Bassman, D130
④	PUNCH	4x10" Ampeg SVT 410HLF
⑤	MODERN	4x10" Eden D410XLT
⑥	STUDIO	1x12" Epifani® Ultralight
⑦	DEEP	6x10" MESA/Boogie PowerHouse®
Off	オフ	不可

*26ページ「[米国における登録商標](#)」を参照ください。このドキュメントの中で使用される製品名はすべてそれぞれの所有者のトレードマークです。また、Yamaha Guitar GroupやLine 6との関連はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

エフェクト・モデル

POD Expressには、数々の賞を受賞したLine 6のHX®ギター・プロセッサ、さらにはクラシックなDL4™と「M」シリーズのストンプボックスおよびプロセッサに由来する様々なエフェクト・モデルが搭載されています。4つのエフェクト・ノブからいずれかのモデルを選択し、最大4つのエフェクトを同時に使用できます。タップで多数のパラメータを微調整してギター・トーンのマスターピースを作成することが可能です。入力ノイズ・ゲートとボリューム機能(エクスプレッション・ペダル使用時)もまた POD Expressの両デバイスで使用可能です。

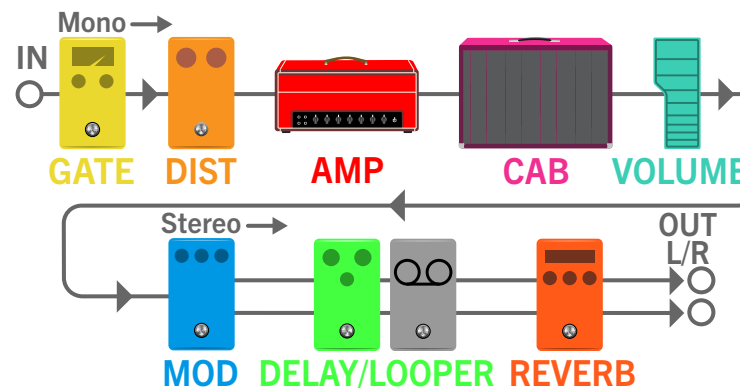
シグナル・パスとステレオ機能について

POD Expressデバイスのシグナル・パスを理解することで、そのステレオエフェクトを最大限に活用できるかもしれません。ペダルは、モノラル入力 - ステレオ出力ギター/ベース・プロセッサとして機能します。OUT LとRIGHT端子が両方共接続されている場合、楽器からのモノ入力をIN端子で受け入れてステレオ出力になります(この章で説明するステレオ・エフェクトを有効にしていることが前提です)。OUT - L/MONO端子のみが接続されている場合(ヘッドフォンが接続されていない場合)、デバイスのステレオ出力はモノになります。

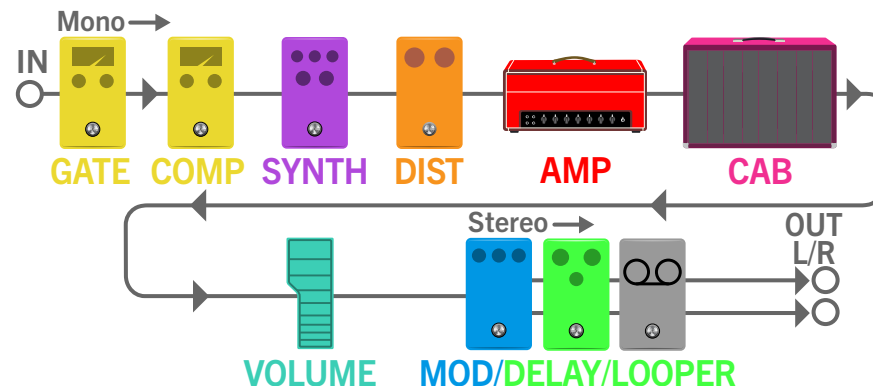
POD Expressは7つのプロセッシング「ブロック」がシグナル・パスに用意されており、入力シグナルをドライで平凡な状態から輝かしいパフォーマンスレベルへ変化させます。以下にシグナル・パスのブロック順を示します。すべてのエフェクトは、アンプ/キャブとボリューム・ペダルの「ポスト(後)」になり、ステレオです。

注記: GATEエフェクトのパラメータは、ALTボタンでアクセスします。[23ページ、「ノイズ・ゲートの調整」](#)を参照してください。
VOLUMEエフェクトは接続したエクスプレッション・ペダルでコントロールします。[13ページ、「エクスプレッション・ペダルとフットスイッチのセットアップ」](#)を参照してください。

POD Express Guitarシグナル・パス




POD Express Bassシグナル・パス



エフェクト・モデルの選択と調整

まず、4つのエフェクト・ノブのうち1つを回してラベルの付いたモデルを選択して使用するか、ノブを反時計回りにいっぱいまで回してエフェクト無しにします。4つのエフェクト・カテゴリ・ノブのそれぞれで1つのエフェクトを有効にすることができ、使用可能なトーンとテクスチャー豊富に用意されています。

注記: DELAY – LOOPERは、DELAYノブ(POD Express Guitar)またはMOD DELAYノブ(POD Express Bass)を時計回りにいっぱいまで回してルーパー  シンボルに設定することで選択できます。25ページ「クイックルーパーを使う」を参照してください。

各エフェクト・ノブは4つのセグメントに分かれており、4つのエフェクト・モデルにはそれぞれ区切られた調整範囲があります。

エフェクト・モデルを選択した後、エフェクト・ノブを指定範囲内でゆっくりと回してモデルの強度を調節します。


例えば、下図のように、DISTノブをOVERDRIVEモデルの範囲内でまわします。モデルの範囲内でノブを時計回りに調節すると、ゲインとサチュレーション強度が増します。



DISTの調整 – オーバードライブ・エフェクト・モデル

他のエフェクト・ノブとそのモデルも、ノブを範囲内で時計回りに回すと同様の動作をします。MODモデルはその深さとレートを増加させ、DELAYはウェット・ミックスとリピート数を増加させ、ベースCOMPはそのコンプレッション量を増加させ、REVERBはそのウェット・ミックスとディケイタイムを増加させる等があります。*

ヒント: POD Express Bassの場合 SYNTHエフェクト・モデルでは、エフェクト・ノブをモデルの範囲内で時計回りに回すと、そのオシレーションやレゾナンスが増加します。

エフェクトをバイパスするときは、そのノブを反時計回りにいっぱいまでまわして  シンボルに設定します。



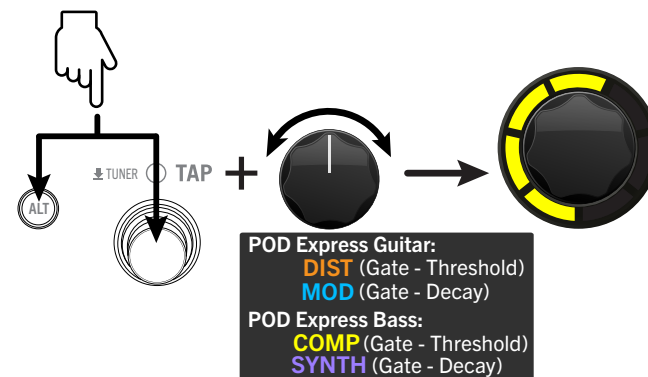
エフェクト・ノブを反時計回りにいっぱいまで回して、そのカテゴリをバイパスします。

ノイズ・ゲートの調整

POD Expressはそれぞれ入力ステージにノイズ・ゲートが用意されています。このゲートは常に存在するため、エフェクト・ノブには表示されず、そのThresholdとDecayパラメータは以下のように調整できます。

- ゲートのThresholdにアクセスするときは、ALTボタンとTAPスイッチの両方を長押ししながら DISTノブ (POD Express Guitar)またはCOMPノブ(POD Express Bass)を回します。
Thresholdを最小値に設定するとゲートは実質的にバイパスされます。
- ゲートのDecayにアクセスするときは、ALTボタンとTAPスイッチの両方を長押ししながら、MODノブ(POD Express Guitar)または SYNTHノブ (POD Express Bass)を回します。

ノブを調節すると、AMPエンコーダーのLEDリングに黄色のLEDが1つ点灯する場合は最小値を示し、ThresholdまたはDecayパラメータ調整の最大値の場合は7つのLEDすべてが点灯することがわかります。



ゲート・パラメータの編集 (POD Express Bass – Threshold 描写)

ゲート・パラメータ

パラメータ	詳細
Threshold	信号レベルがスレッシュホールドを超えると、ゲートが「開いて」信号を通す、またはスレッシュホールドを下回るとゲートが「閉じる」ように、信号レベルを選択して調節します。アイデアとしては、演奏していないときに聞こえる低レベルのノイズの少し上までThresholdを上げます。
Decay	信号を黙らせるためのゲートが閉じるまでの時間を調整します。低い値はディケイ・タイムが短く設定され、サステイン・ノートがカットされます。高い値はノートをサステインさせることができますが、値が高過ぎると不要なノイズを通す可能性があります。

ボリューム・ペダル・エフェクトにアクセスする

POD Expressはそれぞれにボリューム・ペダル・エフェクトが用意されています。このボリュームは、エクスプレッション・ペダルを接続することでアクセスが可能になります。詳細は14ページ、「エクスプレッション・ペダルの接続」をご覧ください。

POD Express Guitarエフェクト・モデル

以下にPOD Express Guitarの各エフェクト・ノブに搭載されているギター・エフェクト・モデルをそれぞれ、ベースとなった実際のストンプボックスも含めて紹介します。

DISTモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
BOOST	モノ	Klon® Centaur
OVERDRIVE	モノ	Ibanez® TS808 Tube Screamer®
DISTORTION	モノ	BOSS® DS-1 Distortion (Keeley モディフィケーション)
FUZZ	モノ	'73 Electro-Harmonix® Ram's Head Big Muff Pi

MODモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
CHORUS	ステレオ	モディファイドArion SCH-Zコーラス
FLANGER	ステレオ	MXR® 117 Flanger
PHASER	ステレオ	MXR Phase 90
TREMOLO	ステレオ	Fenderオプティカル・トレモロ回路

DELAY/Looperモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
ANALOG	ステレオ	AdrianモディフィケーションのBOSS DM-2
DIGITAL	ステレオ	Line 6オリジナル
TAPE	ステレオ	Maestro® Echoplex EP-3
PONG	ステレオ	Line 6オリジナル (Ping Pongスタイル)
 LOOPER	ステレオ	Line 6オリジナル (1 スイッチルーパー)

REVERBモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
SPRING	ステレオ	Line 6オリジナル
HALL	ステレオ	Line 6オリジナル
PLATE	ステレオ	Line 6オリジナル
SPACE	ステレオ	Line 6オリジナル

*26ページ、「米国における登録商標」を参照ください。このドキュメントの中で使用される製品名はすべてそれぞれの所有者のトレードマークです。また、Yamaha Guitar GroupやLine 6との関連はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

POD Express Bassエフェクト・モデル

以下に POD Express Bassの各エフェクト・ノブに搭載されているすべてのエフェクトモデルを、それぞれのベースとなった実際のエフェクト・ユニットも含めて紹介します。

COMPRESSORモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
OPTICAL	モノ	Ampeg Opto Comp
LA	モノ	Teletronix® LA-2A*
DELUXE	モノ	Line 6オリジナル
LIMITER	モノ	Ashly® CLX-52 (B. Sheehanと組み合わせて)

SYNTHモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
OCTAVE	モノ	BOSS OC-2 Octaver
GROWL	モノ	Line 6 オリジナル
STRING	モノ	Roland® GR700 ギター・シンセ
MUTANT	モノ	Musitronics® Mu-Tron III

DISTモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
BOOST	モノ	Xotic EP Booster
OVERDRIVE	モノ	Klon Centaur
DISTORTION	モノ	Tech 21 SansAmp Bass Driver DI V1
FUZZ	モノ	'73 Electro-Harmonix Ram's Head Big Muff Pi

Modulation/Delay/Looperモデル

タイプ	モノ/ステレオ	ベースにしています*
—MODULATION		
CHORUS	ステレオ	モディファイドArion SCH-Zコーラス
FLANGER	ステレオ	MXR 117 Flanger
PHASER	ステレオ	MXR Phase 90
—DELAY/LOOPER		
DIGITAL	ステレオ	Line 6オリジナル
 LOOPER	ステレオ	Line 6オリジナル(1 スイッチルーパー)

クイックルーパーを使う

DELAYノブ (POD Express Guitar) またはMODDELAY ノブ (POD Express Bass)を時計回りにいっぱいまで回してルーパーを選択します。ONスイッチのLEDがぼんやりと白色で点灯し、AMP エンコーダーのLEDリングがぼんやりと赤色で点灯してルーパーが録音可能な状態になったことを知らせます。

ルーパーはステレオでデバイスのシグナル・パスの最後に配置されることに注意してください。録音したループには、ペダル出力から聞こえる現在のアクティブなアンプ、キャブ、エフェクトがすべて含まれています。ループを再生する際、オプションでアンプとエフェクトの設定を変更し、一緒に演奏する楽器に異なるトーンを提供することができます。最長30秒までのループを録音できます。

- ONフットスイッチを押して録音を開始します。**
ONフットスイッチLEDとLEDリングが明るい赤色で点灯し、ループが録音中であることを示します。楽器の演奏を即座に開始してループを録音します。
- ONフットスイッチを再び押しとループの再生が開始します。**
ONスイッチのLEDが明るい緑色で点灯し、LEDリング・セグメントは明るい緑色で1から7まで順々に点灯して録音したループの長さを示します。ループを使用してエンドレスにジャムすることができます。
- オーバーダビングするときはONスイッチを再び押しします。**
ONスイッチLEDが琥珀色で点灯し、LEDリング・セグメントが琥珀色で順次点灯してオーバーダビング用に録音したループの長さを示します。レイヤーパートを追加してループを飾るには、さらに演奏します。スイッチを続けて押すことで再生とオーバーダブ・モードが切り替わります。
- ルーパーがプレイ・モードまたはオーバーダブ・モードの状態、ONスイッチを1秒間長押しすれば、直近のオーバーダブを「取り消す」ことができます。**
直近のオーバーダブした録音が取り消されます。再びスイッチを長押しし、録音をやり直します。

*26ページ「米国における登録商標」を参照してください。本ドキュメントに記載されているすべての製品名は、各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar GroupまたはLine 6との関連や提携関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

5. ONスイッチを素早く2回押すと、再生が停止します。

再生/録音が停止し、LEDリングがぼんやりと緑色で点灯してループがメモリーに入ったことを示します。Looperモードを終了したり、プリセットを変更したり、デバイスの電源を切ったり、手動でループをクリアすると、ループはメモリーからクリアされることに注意してください。(次の手順を参照)。

6. ルーパーの再生/録音を停止した状態でONスイッチを長押しするとループが完全に削除されます。

ONスイッチLEDがぼんやりと白色で点灯し、LEDリングはぼんやりと赤色で点灯すると、現在メモリーにはループが無く、再び録音する準備が整っていることを示します。

米国における登録商標

本ドキュメントに記載されているすべての製品名は、各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar GroupまたはLine 6との関連や提携関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

5150はELVH Incの登録商標です。

AguilarはDavid Boonshoftの登録商標です。

AshlyはAshly Audio, Incの登録商標です。

BognerはBogner Amplificationの登録商標です。

BOSS とRolandはRoland Corporation USの登録商標です。

Darkglass とMicrotubesはDarkglass Electronics, TMI Douglas Castroの登録商標です。

Electro-HarmonixはNew Sensor Corpの登録商標です。

EnglはBeate AusflugとEdmund Englの登録商標です。

EpiphaniはEpifani Custom Sound Systems, Incの登録商標です。

Fender, Bassman, Deluxe Reverb及びPrinceton ReverbはFender Musical Instruments Corp.の登録商標です。

Gallien-KruegerはGallien Technology, Inc.の登録商標です。

IbanezはHoshino, Inc.の登録商標です。

KlonはKlon, LLCの登録商標です。

LA-2A及びTeletronixはUniversal Audio, Inc.の登録商標です。

MaestroはGibson Guitar Corp.の登録商標です。

MarshallはMarshall Amplification Plcの登録商標です。

MatchlessはMatchless, LLCの登録商標です。

Mesa/Boogie, Lone Star, PowerHouse及びRectifierはMesa/Boogie, Ltd.の登録商標です。

MusitronicsはMark S. Simonsenの登録商標です。

MXRはDunlop Manufacturing, Inc.の登録商標です。

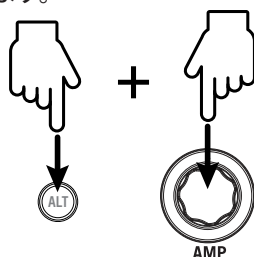
PeaveyはPeavey Electronics Corporationの登録商標です。

RevvはRevv Amplification Inc.の登録商標です。

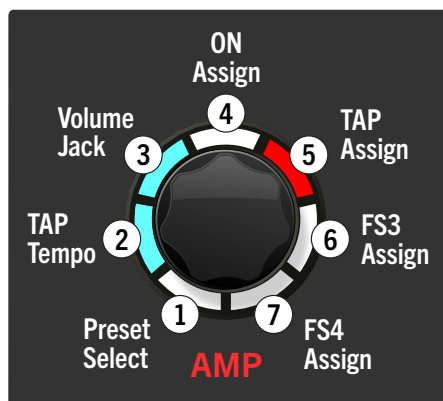
グローバル・セッティング

グローバル・セッティングには、入力と出力レベル、フットスイッチの設定等、すべてのプリセットへ適用される追加パラメータが含まれています。グローバル・セッティングには以下の手順でアクセスします。ほとんどの場合、これらのセッティングは好みに合わせて一度設定するだけで、後は全て忘れてしまうでしょう! グローバルのパラメータを編集する手順は、POD Expressデバイスでは同じです。但し、フットスイッチ・パラメータの選択可能なオプションは、前述のとおり若干異なります。

1. ALTボタンを押しながらAMPエンコーダーを押すとGlobalモードに入り、最初のオプションが表示されます。



AMPエンコーダーの回りの7つのLEDは、以下で示すように、最初のページのGlobalセッティング1~7の現在値を反映した色で点灯します。



グローバル・セッティング(1~7)のページ1

2. AMPエンコーダーを回して、編集したいグローバル・セッティング(1~7)を選択し、AMPエンコーダーを繰り返し押すと使用可能なオプションが一巡します。その場所のLEDセグメントの色が選択した値を示します。

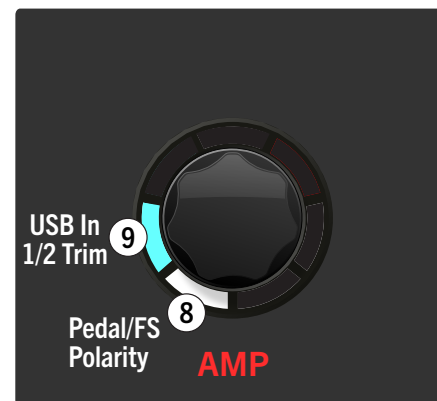
各パラメータの値のLEDの色については、[28ページ](#)、「[グローバル・セッティング表](#)」を参照してください。

例えば、TAP Tempoセッティングを、デフォルトの「プリセットごと」の値ではなく、「グローバル」に設定したいときは、AMPエンコーダーを回して2の位置に合わせ(そのLEDが点滅)、そのLEDが、水色に変わるまでAMPエンコーダーを押します。

3. ページ2のグローバル・セッティング8~9にアクセスするときは、ALTを押して離します。



ALTを押すと、AMPエンコーダーの最初の2つのセグメントが、グローバル・セッティング8 & 9の現在の値を反映した色で点灯するのがわかります。下の図を参照してください。



グローバル・セッティング(8~9)のページ2




4. AMPエンコーダーを回してグローバル・セッティング8または9を選択し、AMPを押すと使用可能なオプションが一巡します。パラメータの値のLEDの色については、[28ページ](#)、「[グローバル・セッティング表](#)」を参照してください。
5. 編集が終わったら、フットスイッチを押してグローバル・セッティングを終了します。




グローバル・セッティング表


LEDの色は以下の通りです:

(白色),
 (赤色),
 (水色),
 (明るい橙色),
 (青色),
 (緑色),
 (濃い橙色),
 (紫色),
 (黄色)

ポジション	パラメータ	セグメント色 - 値 ✔ ファクトリー・デフォルト・セッティングを示す	詳細
1	Preset Select	すべて瞬時 ✔ ロード On/Off	プリセット・ローディングの動作を設定する (15ページ、「プリセットを使う」参照) TAPまたはONを押す(またはAMPエンコーダーを回す)と、次/前のプリセットが瞬時にロードされる。 TAPまたはONを押す(またはAMPエンコーダーを回す)と選択したプリセットがキューに入り、TAPとONスイッチの両方を押すことで列に入ったプリセットがロードされる。
2	TAP Tempo	プリセットごと ✔ グローバル	TAP Tempoをプリセットごとかグローバルに適用するかを選択する。 プリセットごとにTAP Tempoレートが適用され、個々に保存される。 TAP Tempoはグローバルに適用される。
3	Volume Jack	FS3/FS4(フットスイッチ) Volume/FS4 (エクスプレッション・ペダル/フットスイッチ) ✔	VOLUME端子にシングル(またはデュアル)フットスイッチを接続するか、またはエクスプレッション・ペダル1つ(またはエクスプレッション・ペダルとフットスイッチ)を接続するかを設定する。FS3 AssignとFS4 Assignセッティングを使用して各スイッチの機能を選択する。 シングル(またはデュアル)フットスイッチを接続する端子を設定する。 エクスプレッション・ペダル(およびオプションとして、外部フットスイッチ)を接続する端子を設定する。エクスプレッション・ペダルでボリュームをコントロールし、スイッチでFS4をコントロールする。
4	ON Assign	全てOn/Off ✔ エフェクトOn/Off DIST On/Off MOD On/Off DELAY On/Off REVERB On/Off	POD Express GuitarのONフットスイッチの動作の機能を設定する。 ペダルを有効または無効にする— Offの場合、すべての処理が無効になる。 全てのエフェクト(ノイズ・ゲート、ディストーション、モジュレーション、ディレイ、リバーブ、ボリューム)を有効または無効にする。 ディストーションエフェクトを有効または無効にする。 モジュレーション・エフェクトを有効または無効にする。 ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。 リバーブ・エフェクトを有効または無効にする。

ポジション	パラメータ	セグメント色 - 値 ✔ ファクトリー・デフォルト・セッティングを示す	詳細
4	ON Assign 	<ul style="list-style-type: none"> 全てOn/Off ✔ エフェクトOn/Off COMP On/Off SYNTH On/Off DIST On/Off MOD/DELAY On/Off 	<p>POD Express BassのONフットスイッチの動作の機能を設定する。</p> <p>アンプ、キャブ、全てのエフェクト・モデルを有効または無効にする。</p> <p>すべてのエフェクト(ノイズゲート、コンプレッサー、シンセサイザー、ディストーション、モジュレーション/ディレイ、ボリューム)を有効または無効にします。</p> <p>コンプレッサー・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>シンセ・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>ディストーションエフェクトを有効または無効にする。</p> <p>モジュレーション/ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。</p>
5	TAP Assign 	<ul style="list-style-type: none"> TAP/Tuner ✔ エフェクトOn/Off DIST On/Off MOD On/Off DELAY On/Off REVERB On/Off 	<p>POD Express GuitarのTAPフットスイッチの機能を設定する:</p> <p>フットスイッチをタップしてテンポに入る。長押ししてチューナーを表示させる。</p> <p>すべてのエフェクト(ディストーション、モジュレーション、ディレイ、リバーブ)を有効または無効にする。</p> <p>ディストーションエフェクトを有効または無効にする。</p> <p>モジュレーション・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>リバーブ・エフェクトを有効または無効にする。</p>
5	TAP Assign 	<ul style="list-style-type: none"> TAP/Tuner ✔ エフェクトOn/Off COMP On/Off SYNTH On/Off DIST On/Off MOD/DELAY On/Off 	<p>POD Express BassのTAPフットスイッチの機能を設定する:</p> <p>スイッチをタップしてテンポに入る。長押ししてチューナーを表示させる。</p> <p>すべてのエフェクト(コンプレッサー、シンセサイザー、ディストーション、モジュレーション/ディレイ)を有効または無効にします。</p> <p>コンプレッサー・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>シンセ・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>ディストーションエフェクトを有効または無効にする。</p> <p>モジュレーション/ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。</p>

ポジション	パラメータ	セグメント色 - 値	詳細
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ ファクトリー・デフォルト・セッティングを示す 	
6	FS3 Assign 	<ul style="list-style-type: none"> 前のプリセット ✓ TAP/Tuner エフェクトOn/Off DIST On/Off MOD On/Off DELAY On/Off REVERB On/Off 	POD Express GuitarのFS3フットスイッチの機能を設定する。(「Volume Jack」、ポジション3もまたフットスイッチの設定を行えることに注意。) 前のプリセットを選択する。 スイッチをタップしてテンポに入る。長押ししてチューナーを表示させる。 すべてのエフェクト(ディストーション、モジュレーション、ディレイ、リバーブ)を有効または無効にする。 ディストーションエフェクトを有効または無効にする。 モジュレーション・エフェクトを有効または無効にする。 ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。 リバーブ・エフェクトを有効または無効にする。
6	FS3 Assign 	<ul style="list-style-type: none"> 前のプリセット ✓ TAP/Tuner エフェクトOn/Off COMP On/Off SYNTH On/Off DIST On/Off MOD/DELAY On/Off 	POD Express BassのFS3フットスイッチの機能を設定する。(「Volume Jack」、ポジション3もまたフットスイッチの設定を行えることに注意。) 前のプリセットを選択する。 スイッチをタップしてテンポに入る。長押ししてチューナーを表示させる。 すべてのエフェクト(コンプレッサー、シンセサイザー、ディストーション、モジュレーション/ディレイ)を有効または無効にします。 コンプレッサー・エフェクトを有効または無効にする。 シンセ・エフェクトを有効または無効にする。 ディストーションエフェクトを有効または無効にする。 モジュレーション/ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。
7	FS4 Assign 	<ul style="list-style-type: none"> 次のプリセット ✓ TAP/Tuner エフェクトOn/Off DIST On/Off MOD On/Off DELAY On/Off REVERB On/Off 	POD ExpressのFS4フットスイッチの機能を設定する： 次のプリセットを選択する。 スイッチをタップしてテンポに入る。長押ししてチューナーを表示させる。 すべてのエフェクト(ディストーション、モジュレーション、ディレイ、リバーブ)を有効または無効にする。 ディストーションエフェクトを有効または無効にする。 モジュレーション・エフェクトを有効または無効にする。 ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。 リバーブ・エフェクトを有効または無効にする。

ポジション	パラメータ	セグメント色 - 値 ✔ ファクトリー・デフォルト・セッティングを示す	詳細
7	FS4 Assign 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 次のプリセット ✔ <input type="checkbox"/> TAP/Tuner <input type="checkbox"/> エフェクト On/Off <input type="checkbox"/> COMP On/Off <input type="checkbox"/> SYNTH On/Off <input type="checkbox"/> DIST On/Off <input type="checkbox"/> MOD/DELAY On/Off 	<p>POD Express BassのFS4フットスイッチの機能を設定する:</p> <p>次のプリセットを選択する。</p> <p>スイッチをタップしてテンポに入る。長押ししてチューナーを表示させる。</p> <p>すべてのエフェクト(コンプレッサー、シンセサイザー、ディストーション、モジュレーション/ディレイ)を有効または無効にします。</p> <p>コンプレッサー・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>シンセ・エフェクトを有効または無効にする。</p> <p>ディストーションエフェクトを有効または無効にする。</p> <p>モジュレーション/ディレイ・エフェクトを有効または無効にする。</p>
8	Pedal/FS Polarity	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ノーマル ✔ <input type="checkbox"/> 逆 	<p>接続したエクスペッション・ペダルまたはフットスイッチの+/-極性を設定する。ペダルまたはフットスイッチがパラメータを逆方向にコントロールする場合は、この設定を変更してみてください。</p> <p>ノーマル極性に設定する。</p> <p>逆極性に設定する。</p>
9	USB In 1/2 Trim	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> +6.0 dB <input type="checkbox"/> +3.0 dB <input checked="" type="checkbox"/> 0 dB ✔ <input type="checkbox"/> -3.0 dB <input type="checkbox"/> -6.0 dB <input type="checkbox"/> -9.0 dB <input type="checkbox"/> -12.0 dB 	<p>iTunes, Spotifyなどからのストリーミングなど、入力されるUSB 1/2オーディオのレベルを独立して調整して、ギターやベース信号レベルとのバランスをとることで、一緒にジャムすることができます。</p> <p>レベルを6dB上げる。</p> <p>レベルを30dB上げる。</p> <p>レベルに変更無し(ユニティ・ゲイン)。</p> <p>レベルを3dB下げる。</p> <p>レベルを6dB下げる。</p> <p>レベルを9dB下げる。</p> <p>レベルを12dB下げる。</p>

全てのグローバル設定のリセット

POD Expressデバイスでファクトリー・リセットを実行すると、すべてのグローバル・セッティングをファクトリー・デフォルトに戻すことができます。

! 重要!ファクトリー・リセットを実行すると、すべてのファクトリー・プリセットも復元され、デバイスに保存したカスタム・プリセットも消去されます。

ファクトリー・リセットを実行する

POD Expressの電源をオフにして、接続したUSBケーブルは全て外します。ONとTAPフットスイッチの両方を押しながら、ペダルの電源をオンにします。

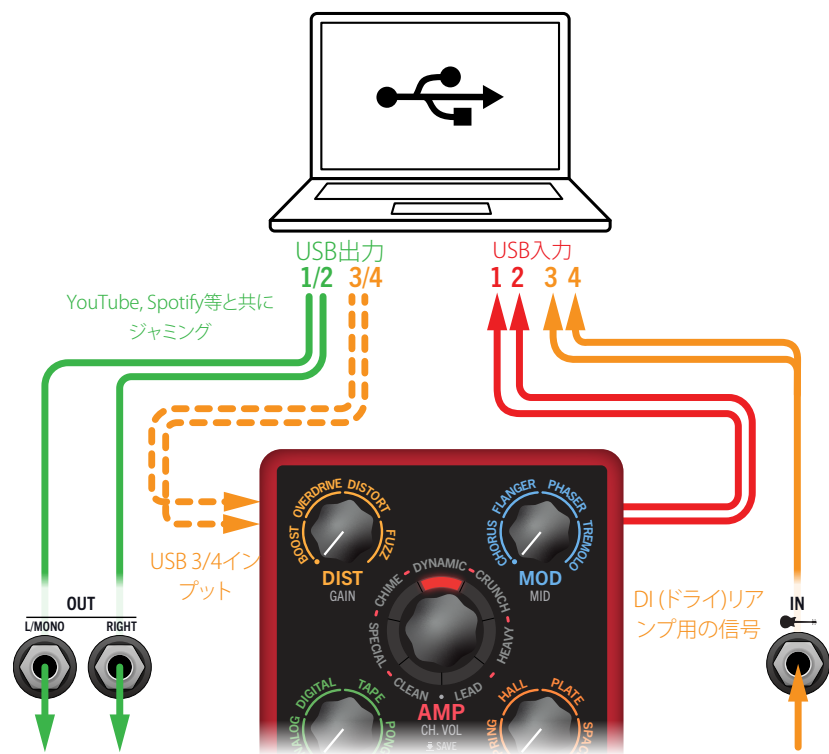
- 電池を使用する場合は、6.3mmケーブルをデバイスのIN端子に接続して電源をオンにします。
- 電源アダプターを使用する場合は、アダプターをDC IN端子に接続して電源をオンにします。

デバイスの電源を入れると、AMPエンコーダーのLEDが白色で3回点滅し、ファクトリー・リセットが成功したことを示します。

USB オーディオ

POD Express、USB 2.0、マルチチャンネル、低レイテンシーのオーディオ・インターフェースとして機能し、WindowsおよびmacOSコンピュータ、iOSおよびAndroidモバイル・デバイスで24ビット/48kHzのネイティブ・オーディオをサポートします(USB接続の詳細は[7ページ](#)を参照)。POD Expressとお手持ちのコンピュータ間でのオーディオの扱いは、以下のイラストと表を参照してください。

注記: Windowsコンピュータで低レイテンシーのUSBオーディオを動作させるには (ほとんどのWindows DAWアプリケーションで必要な) Line 6 POD Express ASIO®ドライバーをダウンロードしてインストールする必要があります ([34ページ](#)参照)。macOSコンピュータとiOSまたはAndroidモバイル・デバイスでは Line 6ドライバーのインストールは不要です。POD Expressは、クラス・コンプライアント・ドライバーをサポートしています。最新のオペレーティング・システムでのドライバーのサポートの詳細については、line6.com/supportにアクセスしてご覧ください。



POD ExpressのUSBオーディオ・ルーティング

USBインプット	ソース
USB 1および2	POD Expressからのフル処理された出力。これらの入力にはDAWソフトウェアでRECORD (L)とRECORD (R)として表示される可能性があります。
USB 3または4	POD ExpressからのDI (ドライ) 出力 (後のリアンプ用に未処理の信号を録音するのに使用)。これらの入力にはDAWソフトウェアでINPUT MON (L)とINPUT MON (R)として表示されます。
USB出力	目的地
USB 1/2	POD Expressはオーディオ・アプリの出力のモニタリングまたはYouTube™, Spotifyなどでジャム演奏などに適した (ダイレクト、処理無し) 再生。これらの出力は DAW ソフトウェアではJAM (L)とJAM (R)として表示されます。
USB 3/4	POD Expressリアンプ入力(オーディオ・アプリのドライなトラックの再生をここにルーティングし、リアンプします)。これらの出力は DAW ソフトウェアではRE-AMP (L)とRE-AMP (R)として表示されます。

ヒント: コンピュータやモバイル・デバイスのアプリ (iTunes, Spotifyなど) から USB ストリーミングを介した音楽とジャミングをする場合、必要に応じて「USB In 1/2 Trim」オプションを使用して、個別にストリーミングUSBオーディオのレベルを調整できます。これにより、より簡単に音楽再生のボリュームとギターやベース信号のレベルのバランスをとることができます。

ハードウェア・モニタリング vs. ソフトウェア・モニタリング

POD Express デバイスは、ハードウェア・モニタリングを提供します。DAWソフトウェアのモニター設定とは別に、あなたのライブ入力信号を常に聴くことができます。ハードウェア・モニタリングは、モニター信号がDAWソフトウェアへルーティングされないため、処理を加えたライブのギター音を、ほぼ「レイテンシー・フリー」で聞けます。

DAWレコーディングによっては、ライブの入力信号をレコーディング・トラックへルーティングする、「インプット・モニタリング」または「ソフトウェア・モニタリング」機能を使用した方が好ましい場合もあります。これにより、トラックに挿入したプラグインで処理された入力のモニタリングが可能になります。DAWソフトウェア・モニタリングの弱点として、ライブの入力信号が一度ソフトウェアにルーティングされ、その後またPOD Expressの出力に戻されるため、わずかな遅れが生じることが挙げられます。これを「レイテンシー」と呼びます。POD Expressは極めて低いレイテンシーでのオペレーションを提供するように設計されています。設定の詳細は「[ASIOドライバー・セッティング \(Windowsのみ\)](#)」を参照してください。

DAWトラックのソフトウェア・モニタリングを有効にした場合、POD Expressハードウェア・モニタリング信号まで同時に聴くことはないと思います。これを実現するには、POD ExpressのUSB 3/4入力をDAWオーディオ・トラックの入力ソースとして使用し、POD ExpressのAMP - CH VOLパラメータを最小にするのが最適です。(19ページ、「アンプ・パラメータの編集」参照)。この設定により、POD Expressからあなたのオーディオ・トラックへ送られるドライなDI信号のみを聴きながら録音することができます。(DIトラックへの録音に関しては次のセクションをご覧ください。)

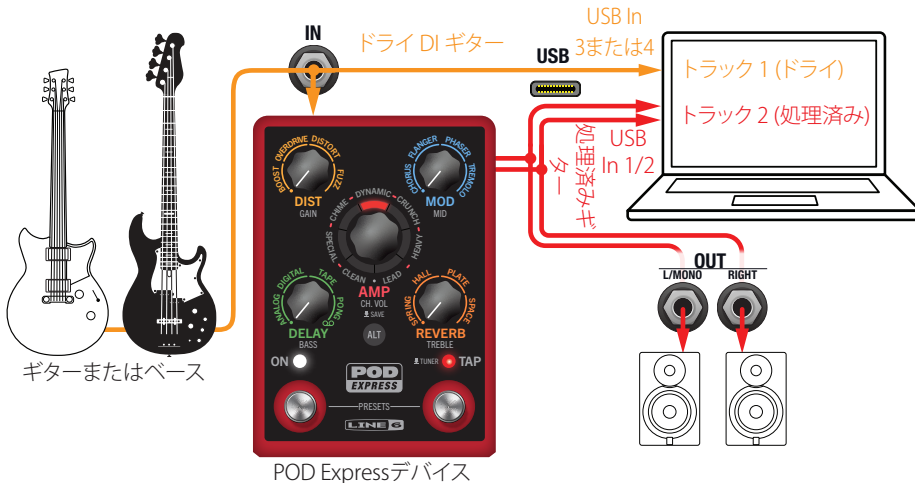
DIレコーディングとリアンプ

一般的なDAW録音技術は、ギターやベースからの未処理の信号など、ドライDI(直接入力)信号を録音することです。これにより、DIトラックを後からプラグイン(Helix Nativeプラグイン等)で処理したり、アンプやその他のアウトボード・ギアでDIトラックを「リアンプ」することが可能になります。POD Expressには、DIトラックを録音するための便利なオプションや、自前のトーンを通してDIトラックにリアンプを加えるオプションなどが搭載されており、追加のハードウェアやケーブルを必要としません!

お使いのペダルには、USBアウト3と4の2つの特別なDI出力があり、ギターまたはベースINから直接供給されます。

ドライDIトラックを録音する

この例では、処理済みのギターのトーンと、未処理の(ドライ)DIギター/ベースのトーンの2種類を、2つのDAWトラックへ同時に録音します。



1. DAWソフトウェアに新規のオーディオ・トラックを2つ作成します。
DIギターをドライのまま録音するためのモノトラックを1つ作成し、そのトラックのインプットをPOD ExpressのUSB 3(またはUSB 4、どちらでも可能)に設定します。

フルにステレオで処理したトーンを録音するためのステレオトラックを1つ作成し、そのトラックのインプットをPOD ExpressのUSB 1/2に設定します。

2. 両方のトラックのアウトプットと、全てのトラックがペダルを通して再生されるように、DAWマスターアウトプットもPOD Express USB 1/2に設定します。
POD Express(処理された)USB 1/2信号のレベルはAMP - CH VOL設定に影響されるため、USB 1/2トラックのレコーディング・レベルを最適に調整します。(ドライUSB 3/4信号は固定レベルで、POD Expressのボリュームやゲイン・パラメータの影響を受けません。)

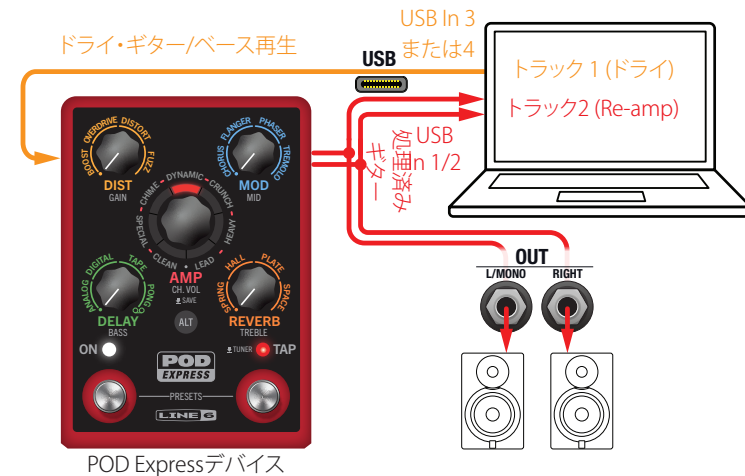
注記:ステレオトラックの出力をUSB 1/2に設定することで、録音中にPOD Expressのハードウェア・モニタリングを介して処理済みのトーンを聴くことができます。この構成には、全てのDAWトラックでソフトウェアの入力モニタリングを無効にしておく必要があります。

3. これら両方のDAWオーディオトラックの準備が整ったら、録音ボタンを押し、ギター演奏を始めてください。

これで演奏しながら聴く事ができるDIで処理済みのトラックと、そしていつでも後からDAWプラグインや、さらにはリアンプをかけて実験できる別のトラックも手に入れた事になります(次のセクションを参照してください)。

POD Expressを使ったりアンプ

では録音したドライDIトラックを使って、それをPOD Expressへルートさせて処理してみましょう。



1. DAWソフトウェアの中で、DIトラックの出力設定をPOD Express USB 3/4に設定します。
2. DAWプロジェクトの中で新たにステレオトラックを1つ作成し、そのトラックのインプット及びアウトプットの両方をUSB 1/2に設定します。録音用のトラックを準備します。

注記: DAWソフトウェアによっては、プロジェクトの再生時に処理した信号をモニターする場合、このソフトウェア・モニタリング機能をこの「リアンプした」トラック上で起動させる必要があります。お手持ちのソフトウェアの説明書を参照してください。

- 次にDAWプロジェクトを再生すれば、POD Expressを通じて「リアンプした」DIトラックを聞くことができます!ミックスした再生を聞きながら、アンプ&エフェクトを好きなように調節してください。
- 自分の好みに合わせてギタートーンのリアンプを終了した後、両方のDIとリアンプしたトラックをソロで再生し、プロジェクトの最初に巻き戻し、DAW録音ボタンを押して新しくリアンプしたトラックの中にリアルタイムで信号を取り込めるようにします。

DIトラックを最後まで再生し、録音を停止します。これで新しくリアンプしたギター/ベース・トラックが完成です!

ヒント: オリジナルのギター/ベースDIトラックがまだ残っているため、このプロセスを繰り返すことで、別のPOD Express設定で追加のリアンプ・トラックの作成や、プラグインの追加、オリジナルのトラックとのブレンド等、いろいろと試してお楽しみください。

Core Audioドライバーセッティング (macOSのみ)

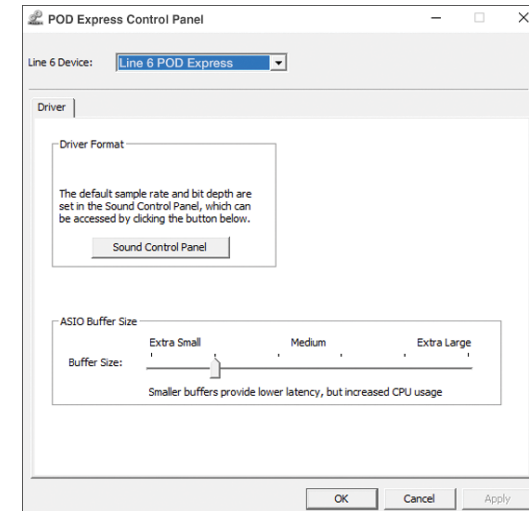
Macアプリケーション専用のオーディオ・インターフェースとしてPOD Expressを使用する場合、追加ドライバーをインストールする必要はありません。POD ExpressはUSBポートに接続するだけで、自動的にMacコンピュータのクラス適合USBドライバーを利用します。それにより、POD ExpressはMacユーティリティ>オーディオMIDIセットアップ・パネルまたはお手持ちのDAWホスト及びマルチメディア・アプリケーション内に選択可能なCore Audioデバイスとして表示されます。POD Expressデバイスは忠実に48kHzネイティブ・サンプル・レート・オペレーションをCore Audioホスト・デバイスで提供する事に注意してください。

ASIOドライバー・セッティング (Windowsのみ)

POD ExpressをWindows DAWアプリケーション用のオーディオ・インターフェースとして使用する場合、POD Express ASIOドライバーを使用するようにソフトウェアを構成することを強く推奨します。ASIOドライバーは、DAW録音に不可欠な、優れた低レイテンシー・オーディオ性能を発揮します。ドライバーの選択は通常、DAWソフトウェアのプリファレンスの中、またはオプション・ダイアログで見つかります。ソフトウェアの説明書を参照してください。

注記: 最新のWindows用Line 6 POD Express ASIOドライバーはline6.com/softwareからダウンロードとインストールが可能です。

一旦POD Express ASIOドライバーがお手持ちのDAWソフトウェアの中で選択されると、「ASIO設定」(またはDAWソフトウェアにもよりますが、似通ったタイトルで)のダイアログの中にボタンが表示されます。このボタンを押してPOD Expressコントロール・パネルを起動させ、以下のドライバーの設定を行います。



POD Expressコントロール・パネル、USBオーディオ設定 (Windows)

Sound Control Panel: このボタンでWindows サウンド・コントロール・パネルを起動させ、POD Expressをマルチメディア・アプリケーション用のオーディオ再生機器として設定することができます (Windowsメディアプレーヤー、iTunes等)。Windows サウンド・コントロール・パネル内の設定は、標準のマルチメディア・アプリケーションは標準Windowsドライバーを利用するため、お手持ちのDAWソフトウェアに対応していません。

ASIO Buffer Size: あなたの目標はDAWソフトウェアで可能な限り低いレイテンシーながらも、グリッチの無いオーディオ・パフォーマンスを達成させることです。小さいバッファサイズでは低レイテンシーが得られますが、コンピュータへは負荷が増加し、結果的にはクリックやポップ音や他の聞き取れるノイズになることがあります。ここでスライダーを低い値の設定にしておき、オーディオ・パフォーマンスに支障が生じた場合は、このパネルに戻り、スライダーを右に動かして値を増やして問題の解決を試みてください。

POD Expressコントロールパネルでの設定が終了したら、「Apply」と「OK」ボタンを押してDAWソフトウェアに戻ります。特定のオーディオ・デバイス、バッファおよびプロジェクトの設定については、お手持ちのDAWソフトウェアの説明書を参照してください。

POD Express ファームウェアをアップデート

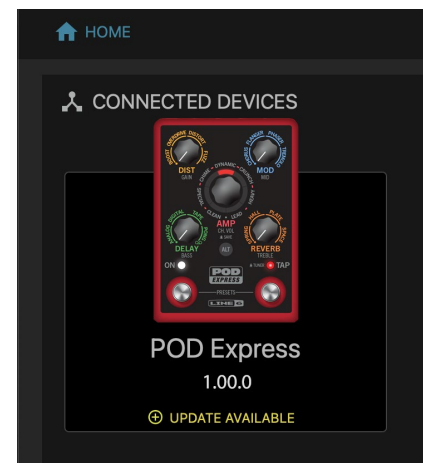


POD Expressデバイスをアップデートすることで、強化やバグ修正を行い、新しい機能やファクトリー・プリセットを入手して本機を常時最新モデルの状態に保持することができます。ペダルをアップデートするときは、line6.com/softwareから入手可能な無料のMacとWindowsコンピュータ用Line 6 Centralアプリケーションを使用することができます。

1. Line 6 Centralをダウンロードしてインストールした後、POD ExpressをコンピュータのUSBポートに直接接続します(USBハブには接続しないでください)。コンピュータのUSBポートからではペダルに電源を供給できないため、必ず電池を装着するか、電源アダプターを接続する必要があることに注意してください。
2. Line 6 Centralを起動させます。
On Mac: アプリケーション>へ進む Line 6 > Line 6 Central
On Windows*: スタートボタン・メニュー> すべてのアプリケーション (またはプログラム) >へ進む > Line 6 > Line 6 Central
3. Line 6アカウントへサインインする.* アカウントを持っていない場合は、最初から作成する必要があります。画面の指示に従ってオンライン登録を行ってください。

注記:ご使用のコンピュータがインターネットに接続されていない場合でも、Line 6 CentralのUpdate from Fileオプションを使用することで、オフラインのデバイスをアップデートすることが可能です。詳細はこのセクションの最後に記載されている手順をご覧ください。

ペダルが検出されてアプリケーション内のホーム画面に表示されます。ご使用のデバイスに新しいファームウェアのバージョンがある場合、以下の画像のように、「Update Available」インジケーターが表示されます。



4. ホーム画面のPOD Expressエントリーをクリックして次の画面へ進みます。メニューから希望するファームウェアを選択してインストールします。最新のファームウェアを選択することを推奨します。

SELECT FIRMWARE

Firmware Version 1.00

選択したファームウェア・バージョンのリリース・ノートが表示されます。特別な指示がある可能性もあるため、必ず詳細をお読みください。

5. 黄色のDownload Updateボタンをクリックしてファームウェアがダウンロードされるのを待ちます。青色に変化したPerform Updateボタンをクリックしてアップデートを実行します。


DOWNLOAD UPDATE

PERFORM UPDATE

License Agreementが次の画面に表示されます。使用許諾契約書に目を通し、Acceptをクリックして条件に同意し、アップデートのプロセスを開始します。その他の指示が表示される場合は、その指示に従ってください。

6. アプリケーションでアップデートのプロセスが完了するまで数分間待ちます。
アップデートが完全に完了するまで、デバイスの操作や接続を妨げないことが重要です!

アップデートのプロセスが完了したら、Line 6 Centralアプリケーションを終了し、アップデートされたデバイスを使用することができます。

 注記: POD Expressデバイスのプリセットが変更されることはありませんが、ファームウェアのリリース・ノートに記載されているように、ファームウェアのアップデートにより、サウンドが若干変更される場合があります。

オフライン・モードでLine 6 Centralを使用する

Line 6 Centralアプリを実行するコンピュータが、インターネットに接続されていない場合、以下のように、アプリのUpdate from Fileオプションを使用してPOD Expressファームウェアのアップデートを実行することが可能です。

1. 先ずline6.com/software/のウェブページからPOD Expressの最新のファームウェアをダウンロードして入手する必要があります。次に、Line 6 Centralを使用するコンピュータに、ダウンロードしたファイルを手動でコピーします。POD Expressデバイスを直接コンピュータのUSBポートに接続します。
2. Line 6 Centralを起動し、アプリのホーム画面のPOD Expressペダルを選択します。アプリの画面に特別な指示があれば、必ず読んでその指示に従ってください。
3. 次の画面に表示されるUpdate From Fileボタンをクリックしてコンピュータを一覧し、最初の手順で入手したPOD Expressファームウェア・ファイルを選択します。



4. 「License Agreement」が次の画面に表示されます。使用許諾契約書に目を通し、Acceptをクリックして条件に同意し、アップデートのプロセスを開始します。その他の指示が表示される場合は、その指示に従ってください。
5. アプリケーションでアップデートのプロセスが完了するまで数分間待ちます。アップデートが完了するまでは、デバイスのコントロールや接続を妨げないことが重要です!

LINE 6®